



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成27年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成26年12月	平成27年3月	前回調査比
茨城県	42.6	48.9	+6.3
県北地域	46.1	43.6	△2.5
県央地域	41.1	50.0	+8.9
鹿行地域	44.1	50.9	+6.8
県南地域	43.6	50.9	+7.3
県西地域	38.4	49.2	+10.8

《景気の先行き判断DI》

	平成26年12月	平成27年3月	前回調査比
茨城県	45.1	51.6	+6.5
県北地域	42.1	51.7	+9.6
県央地域	46.2	49.6	+3.4
鹿行地域	46.6	50.9	+4.3
県南地域	48.2	52.7	+4.5
県西地域	42.7	53.0	+10.3

平成27年4月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

[http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukk
a/watch/index.html](http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukk
a/watch/index.html)

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

※平成27年3月1日現在

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体系数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	286 人	95.3%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	56 人	93.3%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	59 人	98.3%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成27年3月調査の調査期間は、平成27年3月1日から平成27年3月31日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは48.9となった。平成26年12月の調査（以下、「前回調査」という。）より6.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

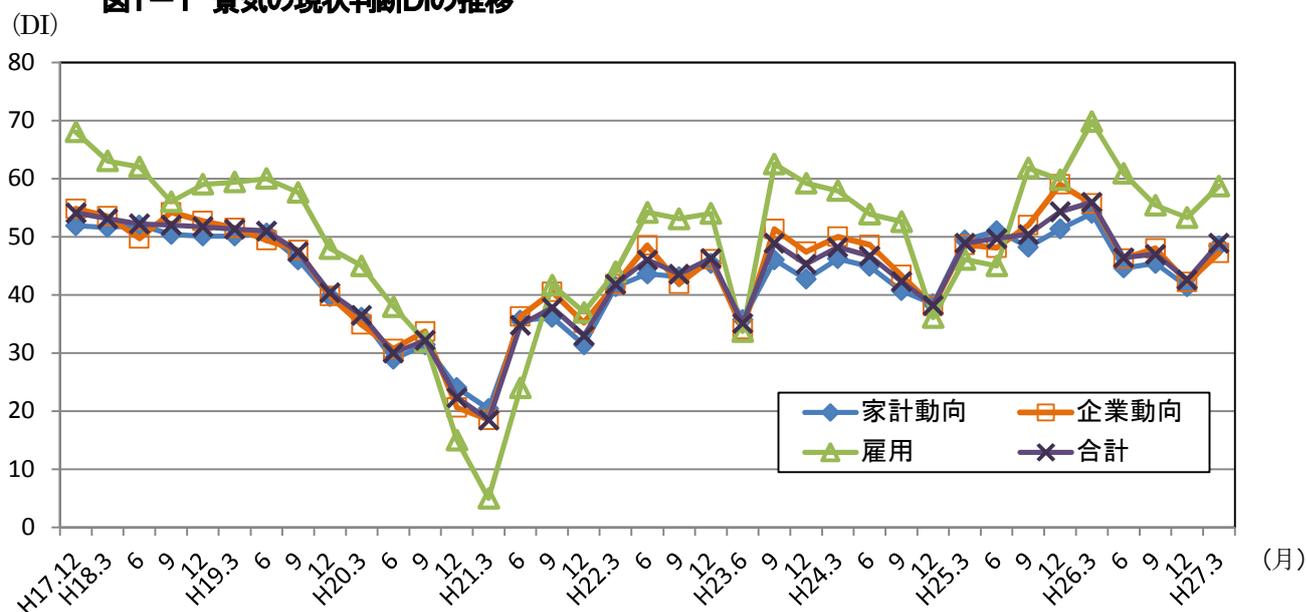
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成26年 3月	平成26年 6月	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月
合 計	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9
家計動向関連	54.0	44.4	45.4	41.4	48.4
小売関連	63.4	43.9	46.3	41.5	50.4
飲食関連	36.8	46.4	38.1	39.8	48.9
サービス関連	49.6	42.7	45.1	41.8	46.3
住宅関連	50.0	58.3	59.4	41.7	50.0
企業動向関連	55.7	46.6	48.0	42.2	47.2
農林水産業	53.6	57.1	42.9	25.0	43.8
製造業	54.4	47.4	45.7	39.4	43.5
非製造業	57.8	43.2	52.1	50.0	52.9
雇用関連	69.8	60.9	55.4	53.3	58.7

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 3月	5.9%	34.4%	41.1%	14.4%	4.1%
平成26年 6月	2.1%	23.8%	39.9%	26.2%	8.0%
平成26年 9月	2.5%	18.3%	50.4%	22.5%	6.3%
平成26年12月	1.4%	14.2%	48.3%	25.7%	10.4%
平成27年 3月	2.1%	22.4%	50.0%	19.9%	5.8%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.6となった。前回調査より6.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

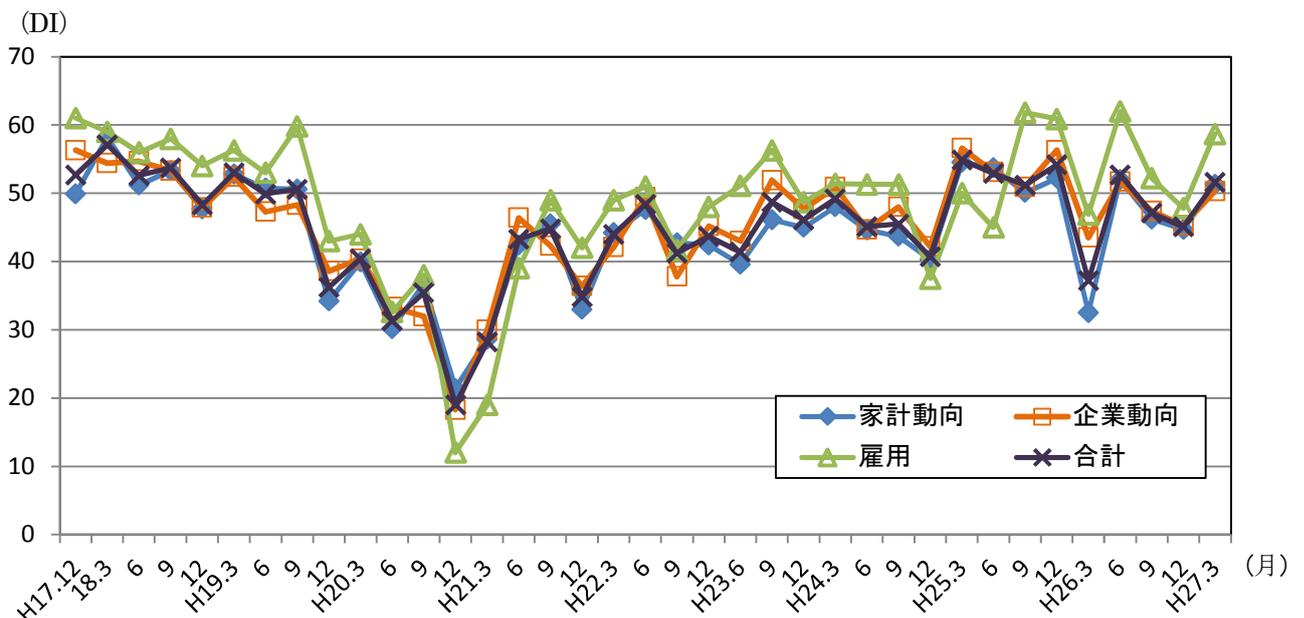
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		37.1	52.7	47.1	45.1	51.6
家計動向関連		32.4	52.1	46.2	44.7	51.3
小売関連		30.8	53.9	50.7	44.9	54.2
飲食関連		22.4	51.2	44.0	46.6	50.0
サービス関連		36.4	50.0	42.2	44.7	49.7
住宅関連		37.5	58.3	53.1	38.9	42.9
企業動向関連		43.5	51.4	47.4	45.3	50.3
農林水産業		46.4	42.9	39.3	31.3	46.9
製造業		43.9	54.2	46.7	45.2	52.2
非製造業		42.2	49.2	50.0	48.6	48.6
雇用関連		46.9	62.0	52.2	47.8	58.7

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 3月	0.7%	13.3%	32.6%	40.4%	13.0%
平成26年 6月	2.4%	26.9%	52.1%	16.1%	2.4%
平成26年 9月	1.8%	15.8%	56.0%	21.8%	4.6%
平成26年12月	1.4%	13.9%	55.2%	22.9%	6.6%
平成27年 3月	1.0%	27.6%	51.7%	15.7%	3.8%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは43.6となった。前回調査より2.5ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		54.6	43.4	45.0	46.1	43.6
家計動向関連		53.2	40.7	44.5	46.3	43.1
企業動向関連		56.9	45.8	44.7	46.1	43.4
雇用関連		55.0	56.3	50.0	43.8	50.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	5.6%	37.0%	35.2%	14.8%	7.4%
平成26年 6月	0.0%	19.3%	45.6%	24.6%	10.5%
平成26年 9月	0.0%	14.5%	60.0%	16.4%	9.1%
平成26年12月	5.3%	19.3%	43.9%	17.5%	14.0%
平成27年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	18.6%	10.2%

② 県央地域

景気の現状判断DIは、前回調査より8.9ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		56.5	43.9	46.2	41.1	50.0
家計動向関連		56.1	39.2	43.4	40.1	48.6
企業動向関連		51.6	46.7	46.9	35.9	46.7
雇用関連		75.0	70.0	65.0	65.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	9.3%	35.2%	35.2%	13.0%	7.4%
平成26年 6月	1.8%	21.1%	35.1%	35.1%	7.0%
平成26年 9月	3.4%	18.6%	44.1%	27.1%	6.8%
平成26年12月	0.0%	15.3%	45.8%	27.1%	11.9%
平成27年 3月	1.8%	25.0%	50.0%	17.9%	5.4%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは50.9となった。前回調査より6.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年 3月	平成26年 6月	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月
合計		57.0	51.3	50.4	44.1	50.9
	家計動向関連	54.9	47.8	45.7	41.4	52.3
	企業動向関連	57.8	52.6	54.2	44.7	43.4
	雇用関連	70.0	70.0	70.0	60.0	70.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	3.5%	38.6%	40.4%	17.5%	0.0%
平成26年 6月	3.4%	31.0%	37.9%	22.4%	5.2%
平成26年 9月	1.7%	20.7%	56.9%	19.0%	1.7%
平成26年12月	0.0%	15.3%	50.8%	28.8%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	29.8%	45.6%	22.8%	1.8%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは50.9となった。前回調査より7.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年 3月	平成26年 6月	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月
合計		55.9	49.5	51.4	43.6	50.9
	家計動向関連	55.4	52.3	50.8	41.7	51.5
	企業動向関連	53.3	42.6	51.5	45.8	51.4
	雇用関連	68.8	56.3	56.3	50.0	43.8

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	6.4%	25.5%	55.3%	10.6%	2.1%
平成26年 6月	3.7%	27.8%	40.7%	18.5%	9.3%
平成26年 9月	7.5%	24.5%	39.6%	22.6%	5.7%
平成26年12月	1.8%	10.9%	54.5%	25.5%	7.3%
平成27年 3月	5.5%	21.8%	47.3%	21.8%	3.6%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは49.2となった。前回調査より10.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

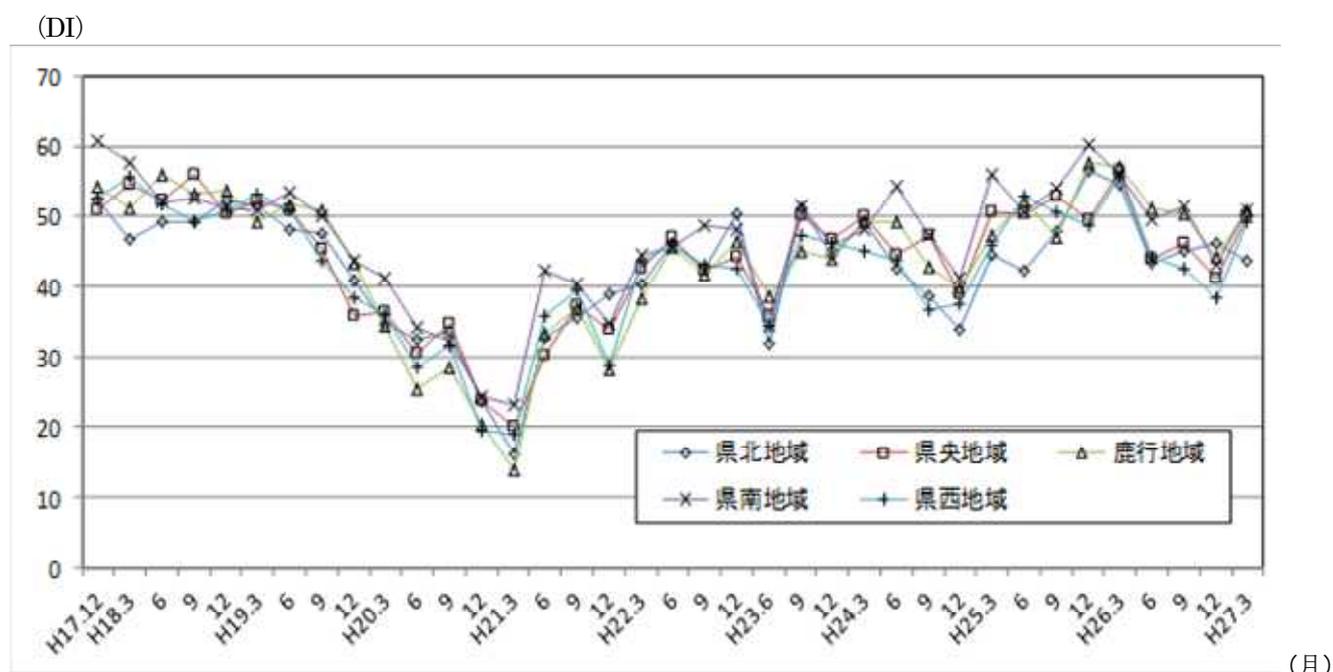
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		55.6	44.2	42.4	38.4	49.2
家計動向関連		50.7	43.1	43.1	37.9	47.2
企業動向関連		57.9	44.7	43.1	37.5	51.4
雇用関連		80.0	50.0	35.0	45.0	55.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	5.2%	34.5%	41.4%	15.5%	3.4%
平成26年 6月	1.7%	20.0%	40.0%	30.0%	8.3%
平成26年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	27.1%	8.5%
平成26年12月	0.0%	10.3%	46.6%	29.3%	13.8%
平成27年 3月	1.7%	25.4%	47.5%	18.6%	6.8%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.7となった。前回調査より9.6ポイント上昇し、横ばいを表す50を5期ぶりに上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年 3月	平成26年 6月	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月
合計		38.9	47.8	45.0	42.1	51.7
	家計動向関連	31.5	46.4	45.3	39.7	51.4
	企業動向関連	51.4	48.6	43.4	46.1	51.3
	雇用関連	40.0	56.3	50.0	43.8	56.3

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	3.7%	13.0%	37.0%	27.8%	18.5%
平成26年 6月	0.0%	21.1%	54.4%	19.3%	5.3%
平成26年 9月	1.8%	10.9%	61.8%	16.4%	9.1%
平成26年12月	1.8%	8.8%	57.9%	19.3%	12.3%
平成27年 3月	0.0%	30.5%	52.5%	10.2%	6.8%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.6となった。前回調査より3.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年 3月	平成26年 6月	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月
合計		38.9	56.1	47.0	46.2	49.6
	家計動向関連	33.3	55.4	45.4	45.4	50.0
	企業動向関連	46.9	55.0	48.4	45.3	43.3
	雇用関連	50.0	65.0	55.0	55.0	65.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	0.0%	20.4%	22.2%	50.0%	7.4%
平成26年 6月	3.5%	31.6%	50.9%	14.0%	0.0%
平成26年 9月	3.4%	11.9%	57.6%	23.7%	3.4%
平成26年12月	0.0%	13.6%	62.7%	18.6%	5.1%
平成27年 3月	3.6%	19.6%	53.6%	17.9%	5.4%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは50.9となった。前回調査より4.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		34.6	53.9	51.3	46.6	50.9
	家計動向関連	31.9	55.1	50.0	45.7	50.8
	企業動向関連	35.9	50.0	52.8	46.1	50.0
	雇用関連	50.0	60.0	55.0	55.0	55.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	0.0%	8.8%	35.1%	42.1%	14.0%
平成26年 6月	5.2%	25.9%	48.3%	20.7%	0.0%
平成26年 9月	0.0%	25.9%	53.4%	20.7%	0.0%
平成26年12月	0.0%	16.9%	57.6%	20.3%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	24.6%	56.1%	17.5%	1.8%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは52.7となった。前回調査より4.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		37.2	56.0	50.0	48.2	52.7
	家計動向関連	35.7	56.8	48.4	50.0	53.0
	企業動向関連	35.0	54.4	50.0	45.8	51.4
	雇用関連	56.3	56.3	62.5	43.8	56.3

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	0.0%	12.8%	31.9%	46.8%	8.5%
平成26年 6月	1.9%	31.5%	55.6%	11.1%	0.0%
平成26年 9月	3.8%	18.9%	52.8%	22.6%	1.9%
平成26年12月	3.6%	18.2%	47.3%	29.1%	1.8%
平成27年 3月	1.8%	27.3%	52.7%	16.4%	1.8%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.0となった。前回調査より10.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

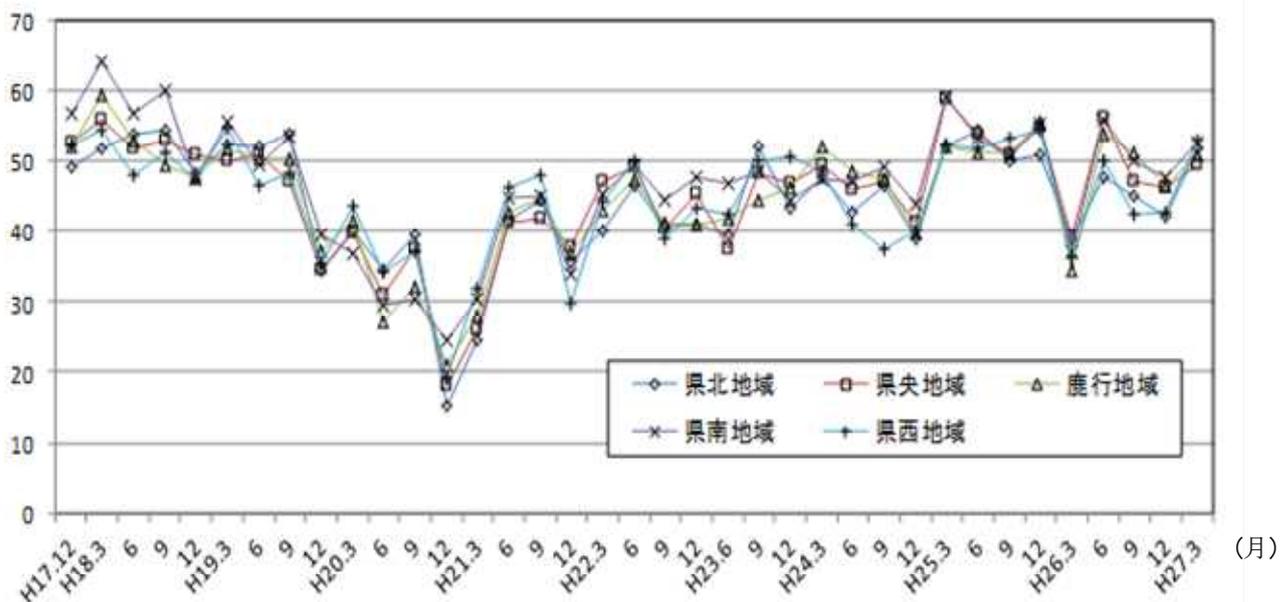
分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		36.2	50.0	42.4	42.7	53.0
家計動向関連		30.1	47.2	42.4	42.9	51.4
企業動向関連		46.1	50.0	43.1	43.1	54.2
雇用関連		40.0	70.0	40.0	40.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 3月	0.0%	12.1%	36.2%	36.2%	15.5%
平成26年 6月	1.7%	25.0%	51.7%	15.0%	6.7%
平成26年 9月	0.0%	11.9%	54.2%	25.4%	8.5%
平成26年12月	1.7%	12.1%	50.0%	27.6%	8.6%
平成27年 3月	0.0%	35.6%	44.1%	16.9%	3.4%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	ゴルフ場	前年比来場者総数は、1～3月期で114%(4～6月97%、7～9月105%、10～12月107%)となり、良くなっている。 毎月1日時の予約出足は、前年比で1月+5ポイント、2月-1ポイント、3月+7ポイントでそれぞれスタートしている。	
やや良くなっている	家計	スーパー	毎日の売上げが予想・予定以上に売れている。	
		コンビニエンスストア	セール・キャンペーンの反応も良くなってきており、若干、景気は良くなっているのではと思います。	
		ドライブイン	売上げ昨年対比が90%にとどまり苦戦していたが、消費税が8%になったのにもかかわらず、最近の天候の良さで相まって12・1月は戻りつつあります。	
	企業	製造業（電気機械器具）	円安の影響により、利益が上がっている。	
製造業（精密機器）		色々な地域からの引き合いが増えている。1件当たりの額も増えてきている。一方、予算に厳しい客先もある。		
変わらない	家計	商店街代表者	年度末を迎えながら、3か月前と売上げの数字が変わっていない。	
		スーパー	景気判断できる商品動向に目立った変化がみられない。	
		スーパー	客単価・1点の単価は3か月前と同じ数字で、点数も変化なし(平成26年11月比。12月は年末で単価が高いので比較しない)。 ただ、土・日はイベント性の高い場所(店)に移っている。価格が割高でも良い物は売れている。	
		コンビニエンスストア	日立エリアを中心に再開発が進んでいる地域もあるが、購買行動はそのまま変化はありません。	
		衣料品販売店	景気の底が終わった気がする。	
		自動車販売店	例年、この時期は最大需要期であるが、去年は増税前の特需で異常な動きがあった。しかし、後半になるとその動きもピタリと止まり、結果的に前年並みの動きだった。	
		農産物直売所	客単価も上がっていない。イベント開催時に安売りの品のみ購入者が多い。	
		小売業（燃料）	販売量(ガソリン)に大きな変化はない。	
		小売業（水産物）	売上げが伸びない。	
		小売業（時計）	「三本の矢」で少し良くなるかと思っただが、ほとんど変わらず。	
		スナック	お客様の出足が鈍い。	
		食堂	営業37年、毎日食事していた方が70、80代になり、遊びにも来られなくなり、今は二代、三代の子供達が孫を連れて来る。でも、年に3回位になり、皆様大変らしいです。介護が大変らしいです。チェーン店に個人営業で対抗するのは大変で、安い金額で対応して儲けにならない。資金があるまで頑張りたい。	
		旅行代理店	3か月前の対前年売上げ額・受注件数比と、現在を比較するとほぼ同じである。	
		タクシー運転手	お客様の話などを聞いても、良い材料がありません。	
		タクシー運転手	12月、ここの一番に期待をかけたのですが、利用者は最少最低の動きがあっただけで、他の月をカバーするほどのことはありませんでした。12月が忙しくなってくると、景気の上昇とタクシー業界の醍醐味を味わえるのですが、それもなく、おとなしく過ぎて今に至っています。	
		ゴルフ場	年末は忘年会シーズンのため、売上げは毎年他の月と比べて多いが、2月・3月は雪の影響等で毎年変わるため、比較はしづらい。	
		ボウリング場	日製関係は良くなっているようですが、全体的には変わらない。	
		住宅販売会社	相変わらず集客数の減少に苦しんでいる。	
		企業	林業関係者	活気立つ動向が見られない。
			水産業関係者	現状変わらず。
製造業（電気機械器具）	作業量はH27年3月までは多めであるが、4月以降が大幅減である。			
製造業（一般機械器具）	担当業務の質・量ともに変化を感じられない。			
製造業（輸送用機械器具）	国内の自動車販売は軽自動車市場を牽引しているが、依然として前年割れの状態が継続している厳しい状態にある。 海外では、北米の好調は継続しているが、中国を含めたアジア地区の不振分のカバーは出来ていない。			
製造業（精密機器）	悪くもなければ、良くもない。停滞している感じがします。 これから、開発案件が出てくると思います。			
建設業	例年、年度末は忙しい時期ではあるが、3か月前と比べても稼働率は高い状態が続いている。しかし、お客様の感じは上向いているようには思えない。			
運輸業	住宅関連の輸送は減っているが、新しい貨物・顧客が増えている。			

変 わ ら な い	企業	金融業	地元大手企業の下請け業者への小口の受注は継続されているものの、大口の受注が減少しており、2~3年の受注は見込まれるも、それ以降の見通しについては不透明である。また、その影響から、居家用の不動産については、依然として動きが鈍い。
		不動産業	集客数や顧客別予算が上がってこない。
		情報通信業（情報サービス業）	対前年比よりは受注は増えているが、3か月前に比べると大きな変化はない。
		運輸附帯サービス業	公共事業等の伸びに期待をしていたが、その辺の設備投資遅れにより延伸状況にあり、思った程良くなっていない。
	雇用	求人広告	募集は若干増えている傾向にあるものの、これは景気動向ではなく求人需要期による要因の方が大きいと考える。
		公共職業安定所	求人は対前年同月比で増加している。求職者は対前年同月比で減少していたが、1月で増加に転じた。また、医療、福祉、建設分野では、人手不足感が続いているが、基幹産業である製造業からの活発な動きが見られない。
		学校就業関係者	雇用保険受給者の職業訓練の受講者数に変化がない。
求人開拓員		県北では、大手メーカーでのリストラがあり、工場現場の労働者にとっては、景気上昇などとてもないと感じている。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（酒類）	前年度も良くなかったが、今年はそれ以上に景気が悪くなっている。地元の飲食店も活気が見られない。
		中国料理店	毎年、この時期は初節句や卒業の季節で、ご家族での食事会が多いはずなのですが、今年は、食事会というよりは皆でご飯という形が多く見られます。そのため、一人の予算も下がり、景気はやや悪くなっています。
		観光型ホテル	前年同期と比較して、個人客の予約は増加しているが、団体客の予約はかなり減少している。そのため、客単価は下がっており、景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	日々の売上げが少し下がっている。
		レジャー施設	前期までは、前年より売上げが伸びていたが、今期は売上げ・客単価とも下降している。
		ゴルフ場	来場状況、客単価等、若干ではあるが落ち込んでいる。
		クリーニング店	客数が減少している。
	企業	製造業（電気機械器具）	MHの影響若干あり。
		製造業（電気機械器具）	作業量は横ばいで、新しい受注案件もない。
		製造業（電気機械器具）	今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、ともに伸び率の低下がみられる。
家計	商店街代表者	売上げが落ちている。	
	居酒屋	人通りが少ない。	
	観光型ホテル	今現在、昨年度対比を下回っている。予約や観光案内などの問い合わせや動きもない。	
企業	製造業（電気機械器具）	全般的に注文が少ない。見積り依頼の件数も以前より少ない。	
	製造業（電気機械器具）	3月末の生産高は、対12月と比較すると、約15%ほど落ち込む。	

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	車両の購入において、クレジットの比率が上がっている。比率が上がる時は、手元資金が足りなくても支払い出来る安心感からの購入であるため、マインドが良くなっている。
やや良くなっている	家計	楽器販売	毎年2月に行われている展示会の来場者が予想以上にあり、実売も昨年以上に伸びた。当然、年末に比べ動きも出てきているので、少し良くなったと判断する。
		レストラン	客単価の上昇があったり、前年と同じ会合でも、平均利用単価が上がってきたりしている。
		割烹料理店	3か月前の忘年会シーズンより売上げ自体は落ちているものの、卒業・入学の準備や、新社会人の準備などで、景気全体的には、上がっているような気がします。
		都市型ホテル	稼働が上がっている。
		タクシー会社	今月は、観梅時期であり例年と同様にタクシー依頼数が多くなっているが、対前年比と3か月前(12月)の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率がやや良くなっているため、景気はやや良くなっていると判断します。
		観光名所	依然厳しい状況ではあるが、高価でも良い商品であれば販売につながっているため、消費税アップの反動から少し消費意欲が回復し、景気はやや良くなっている。
		ゴルフ場	寒さもいくらか緩みつつあるのか、お客様の予約が若干ではあるが増加している。
	企業	製造業(一般機械器具)	12・1・2月とやや良くなってきました。このまま行ってほしいです。
		不動産業	前年に比べて来客数が増えている。ただし、家賃の価格帯は年々下がっている。
		サービス業(コンサルティング)	受注数が増えている。
	雇用	人材派遣業	クライアントのお仕事は増えてきている様子。
		公共職業安定所	有効求人倍率は、12月に比べると上昇している。これは、例年見られる傾向であるが、過去2年において有効求職者数は減少傾向にある中で、有効求人数は着実に増加している。
		学校就業関係者	3月に入っても、中小企業からの2015卒の求人があり、各企業での求人が確保できていない現状であることをみると、それなりに各企業は力をつけているように思われる。
		求人開拓員	求人関係では、雇用情勢も良くなり、求人人数も増加傾向にあります。「サービス業」「小売業」などが増加傾向にあります。この時期、事務系の求人も増加しておりますが、非正規職員の募集が多い。求職関係者では、新規求職申込が、昨年の3か月と比べると80%と伸びがない。採用関係では、正規職員募集に多数応募がありますが、なかなか採用に至らないため、リピーターが多くなりつつある。
変わらない	家計	商店街代表者	ほとんど変化を感じない。
		商店街代表者	毎年、1月は初売りセールを行っております。今年も例年と同企画で実施しましたが、ここ5年間で、初売りセールの売上げが一番悪かった。しかし、1月後半から3月まで、客単価はまだまだ低いが、受注が回復してきた。
		百貨店、総合スーパー	卒業、入学に関する商品の売上げが増加する時期であるが、客単価は3か月前とさほど変わらない推移でいくと予想される。
		百貨店、総合スーパー	セール品のまとめ買い、クリアランスになってから購入、といったような流れは少なく、必要な物を、今欲しいといったお客様の方が多いように見られる。これは、12月頃とあまり変化がない。
		コンビニエンスストア	普段の会話の中での、購入に対する考え方はほとんど変わらないと考えます。あくまでも3か月前との比較では、変化はないと思います。
		家電販売店	来店者も少なく、問い合わせのTELも少ない。
		農産物直売所	嗜好性の高い商品の動きが同じ。ギフト商品の動く価格も同じ。
		レストラン	お客様に変化は見られない。
		レストラン	観梅、卒業式、送別会の時期であるが、予約状況やファミリー客等の動きは、それほど活発ではない。例年同様の動きである。
		都市型ホテル	宴会予約状況等、若干良くなっているが、レストラン等個人消費は伸びず、全体的には変わっていない。
		観光型ホテル	ほぼ、昨年の流れと変わらないような気がする。
		タクシー運転手	今月は異動の時期であり、例年と同様に他の月より若干客数が増えるが、それは毎年の事である。客数は増えるが、客単価が下がり気味なので景気は変わっていないと判断する。
		タクシー会社	売上げが横ばい状態。
		ドライブイン	特別この3か月間で変わったことがなく、良くも悪くもなってはいない。
		レジャー施設	入場者数については、若干の減少傾向が続いているが、大幅な減少も見られないため、変わっていないと思われる。
		レジャー施設	利用数(契約数)の増減がない。
建築設計事務所	今がピークとの声が多い。ゆっくりと下降していくと思われる。		
住宅販売会社	顕著な動きがない。状況は依然厳しいまま。		

変わらない	企業	農業関係者	農閑期の時期であり、特に大きな動きはない。
		製造業（印刷・同関連業）	中小企業の売上げは低迷しているが、大手企業の売上げで、その分をカバーしている感がある。
		製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。
		製造業（窯業・土石製品）	一定の受注は確保できているが、それ以上の受注確保が難しい。
		建設業	雰囲気向上心が見受けられるが、個々物事に慎重感が見受けられる。
		運輸業（道路貨物運送業）	年度末であるが、その割に例年の勢いがいい。
		金融業	総体的には、各事業者共売上げ高に若干の改善が見られるが、収益面では横ばいの印象。全てが企業努力を反映した数字でもなく、外的要因による一過性の増減も含んでおり、業種毎に偏りがあることから、景気感に改善はないものと判断します。
		情報通信業（情報サービス業）	商談の機会は3か月前と変わっておらず、景気感は横ばい。売上げは若干増加しているが、同業者間の競争もあり、利ざやの確保には相変わらず苦戦。今後も商談量の確保が課題となる。顧客の話から、次年度の設備投資について、前向きな姿勢が感じられた。
雇用	求人広告	広告予算が減っている。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	お客様が一回の買い物で使う金額が、昨年対比で約96%。
		スーパー	高い物が売れなくなっている。安いお買い得品ばかりが売れている。余計な物を買わないようにしているようだ。
		スーパー	物価の上昇で、売上げは伸びているような数値になっているが、お客様の購入点数が減っているため、実質は悪化していると思われる。
		スーパー	昨年の12月より客数が減少、併せて売上げも減少している。
		コンビニエンスストア	お客様の買われ方を確認すると、以前より少なくなっていると感じます。
		スーパー銭湯	来館者の客単価は少し上がっている状況であるが、来館者の減少が予想以上に続いているのは、不景気が本格的になってきているのかと思います。
		理・美容店	今月は2月という事で、日数も28日と少なく、毎年同じ事なのですが、売上げはあまり良くありません。
企業	製造業（金属製品）	年が明けてから、仕事量が激減しました。春～夏にかけて、かなり多くの案件が出ています。一過性のものだと思いますが。	
	製造業（精密機械器具）	3月末、年度決算の会社から例年ある、当月受注、当月出荷の引き合い件数が減少している。	
	サービス業（広告業）	飲食店や物販店（特に地元）の売上げが停滞しており、年度末に向けての販促も消極的である。	
悪くなっている	家計	旅行代理店	イスラム国によるテロの影響で、ヨーロッパ方面への旅行が不振。海外旅行の先行受注が悪化しているうえ、取消しが発生している。
		旅行会社	給料は上がりませんが、バス代金やツアー費などが値上がりしている。ツアー客の減少もある。
企業	製造業（食料品）	商品購買点数は一向に増えない。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(ー: 回答が存在しない。 ○: 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	安い物だけでなく、少し高い物も売れている。酒でも高い物も少し売れている。
		コンビニエンスストア	しばらくガソリンの値段も低く、車社会の地域としては、個人負担も車に係る部分は抑えられていると思われます。ドライバー客などの来店は多いように思います。
		家電販売店	テレビの売上げが、4Kを軸に戻りつつある状態になっている。前年ではなく、前々年の数字には追いついてきている。
		農産物直売所	買上げ点数の増加。
		小売業（食品）	天候もまずまずで、特に土・日曜日の天気が良く（雪はなかった）小売業としては良かったと思う。
		和食レストラン	売上げ増収。
		洋食食堂	昨年末は県議選等の影響か、売上げが増えたが、今年に入っても前年比をクリアしている。
		割烹料理店	前は宴会の予算に消費税も含めるお客さんが多かった。しかし、最近は説明をすれば、税別の予算でやってくれるようになってきた。
		ドライブイン	団体ツアーなどのお客様がやや増加してきている。
		レジャー施設	当業界に限らず、昨年4月の消費税率引上げの影響が徐々に解消されつつあると感じられ、やや消費の動向が向上していると感じられる。
		理・美容店	公共事業も増えてきて、お金がまわり始めた感じがする。新車を買う人が増えた。サービス業にもお金を使いやすい状況になりつつある。
		クリーニング店	衣替えの時期でもあり、卒業式・入学式の行事もあるので客数も増える。
	企業	サービス業	自動車業界からの受注が増加あるいは堅調である。また、他の業種からの依頼も総じて、昨年度もしくは上期に比べ微増の状態である。
	雇用	人材派遣業	最近景気動向なり、決算時期での追い込みもあろうかと思いますが、各社とも極めて繁忙感があり社員の中途採用も活発である。しかし、足元の繁忙感が即業績に連動しているかは疑問である。従って、さまざまな派遣要請があるものの人が集まらない。完全に売り手市場にある。
民間職業紹介業		求人については、企業からの依頼が増えている。（特に建設・建築関係）	
公共職業安定所		有効求人倍率は、前年同月比で17か月連続上昇している。しかし、円安傾向が続き、輸入に係る割合が大きい企業では、横ばい、またはそれ以下という声も聞く。	
学校就職関係者		職業訓練の高校新卒者ばかりでなく、離職者の応募状況もよくなり、就職状況が上向きであると判断できる。職安の状況も、以前より人の出入りが少ない感じがする。また、年度末の2月に入って学院への求人依頼が数件あり、人手不足の様子である。	
変わらない	家計	商店街代表者	商店街の来客数は増えていない。消費意欲が向上していない。
		スーパー	お客様の数・買い方に変化がない。日替わり品に集中している。無駄な物は買わない状況。
		コンビニエンスストア	今月は増税による駆け込み需要の裏返しがあり、もともと動きの鈍かったタバコやドリンク、雑貨などが悪い数値となっている。一方で、欲しい物、欲しい量だけを購入されている状況が伺える。シビアな状況は変わらないと考える。
		衣料品販売店	客数が昨対比で見ても、回復していない。
		自動車販売店	仕事、及び人の話題等からも、良くなっているとは聞いたことがなく、どちらかと言えば悪く感じるくらいだと思う。
		小売業（菓子類）	昨年の12月の対前年比の売上げと3月のそれがほぼ同じ。
		タクシー運転手	若干ではあるが売上げ減。いずれにしても低レベル的な現状です。
		タクシー運転手	消費税増税(10%)の延期が26年11月に決定し、その分消費が落ち着いたものの、この業務に関しては全く影響はない。
		ゴルフ場	季節的な違いはあるが、売上げに違いはない。来場者は増加しているが単価は下がっている。
		理・美容店	毎年の事ではあるが、この時期は、3か月前から比べて忙しくはなっている。しかし、人口が減少している為、あまり変わらなく思う。
住宅販売会社	展示場への入場者数が全体的に落ち込んでいる。		
企業	製造業（食料品）	世の中は少しずつ上向き傾向にあるらしいですが、我々の周辺では、なんら変わりなく収入が支出に比例はしていません。お客様のニーズは増加傾向にありますが、材料他経費の増加が景気上昇を抑えています。	
	製造業（食料品）	地方創生が謳われているが、ここ鹿行地域には恩恵がない。	
	製造業（食料品）	原材料価格上昇分を、今年1~3月に何とかOEM製品納価に反映させてもらえたが、末端製品価格のUPにより販売数量が低迷している。	

変 わ ら な い	企業	製造業（電気機械器具）	年度末へ向け、やや受注増ではあるが、主製品である自動車部分品が思ったより生産が伸びていない。
		製造業（化学工業）	円安による輸出手取り増は多少あるものの、国内は、原油安を背景に値下げ要請が激しくなっており、円安メリットは享受できていない。
		製造業（鉄鋼業）	特に変化が起こる兆しは感じられない。生産はフルの状態が続いている。
		製造業（金属製品）	8%消費税導入後、（消費力の）減速傾向が見られる。
		運輸業（道路貨物運送業）	新規荷主引き合いがない。2月中旬から貨物の動きが出てきたと思ったが、3月初旬で止まってしまった。長続きしない傾向があり、新年度に向けて影響が出てくる可能性がある。
		金融業	私共の取引先である中小企業・小規模事業所では、新聞等で報道されているような株価上昇等による景気改善の恩恵を受けるまでには至っていないように感じます。また、円安によるコスト増加等の懸念もあり、景気は変わらないと思われます。
		保険業	明るい見通しもなく、また、悪くもならない。低水準にて推移。
		不動産業	世間でいうほど景気の良さが感じられません。賃貸等の動きが良くありません。土地等の動きも悪いです。
		内装工事業	住宅を建てる人が限られている、その中でその仕事を依頼されることはありません。営業不足かもしれないが、個人の努力だけでは叶わない。まず物件がないと立ち往生のままです。
		火力発電所	製品(電力)量の出荷に大きな変化が見られない。
や や 悪 く な っ て い る	家計	求人開拓員	ガソリンは一時値下がりしたが、また上昇している。その他の物価についても、いつ上がるか分からない状況が続いている事から、財布の紐は固くなっている。
		小売業（薬品店）	年度末の予算の関係で、例年は商品が売れる時期だが、今年はいよいよ注文が減っている。
		精肉店	仕入れ単価や材料費等が上がり、売値が高くなったためか、客単価が若干落ちている。売上げが伸びない。
		小売業（書店）	12月・1月と好調(売上げ・客数共に)推移しておりましたが、2月・3月とやや低調に。客数減が大きく影響している。寒かったり、雨が多かったりしたせいとか、夜の売上げ・客数の伸びが悪い。
		日本料理店	3か月前と比べて、1人当たりの客単価が少なくなった。接待が減っている。
		観光型ホテル	宿泊予約人数の減。
		観光型ホテル	平日の個人のお客様のご利用が少なくなっている。例年と比べても少ない。
		タクシー運転手	当地域が主力とする工業系の動向に活力が見られない。
		タクシー運転手	車内での会話で、お客さんから「最近、景気はどうですか？あまり良くないよねー」という話題がよく出ます。タクシーを利用するの、余程のことがないと乗らないように感じます。
		スーパー銭湯	昨年12月より、大幅な赤字減少策として「週給2日制(火・水)」を導入し営業を行っているが、予想通り入館者数の減少で赤字幅は減ったが、それ以上に習慣的に来館する方も減った。
悪	企業	農業関係者	賃金アップが中小企業や地方にまで浸透していないため、消費者の農産物の購買意欲がまだ少ないと思われる。
		建設業	景気の上昇は感じられません。
		建設業	少子高齢化の為に、建築着工件数が減っている。
		運輸業（道路貨物運送業）	今年になってから、仕事量が少しずつ減少している。
悪	企業	製造業（食料品）	前年度に比べ、自社店舗の売上げは落ち込みが激しく厳しい状態が続いた。景気は極めて悪いと思う。催事等(デパート等)に積極的な参加をして、売上げを補っている。集客率が落ちているのか、季節の新商品開発が急務と思う。

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	値段が高い商品であっても、売れ行きが良い。“質”が問われる時代へ。
		タクシー運転手	接待のためにタクシーを利用される方が増加していることと、遠方へ行かれるのにタクシーを予約される方が目立つ。
	企業	建設業	アパートを建てるオーナー様が増えているので、受注が格段に増えている。
やや良くなっている	家計	スーパー	客数が伸びている。
		スーパー	昨年10月に新規オープンした競合店の影響が、現在ではほとんどなくなってきた。
		家電販売店	購入商品の単価が向上している。
		和食食堂	地震後、店の方は1年近く閉店状態でしたが、改装後、少しずつお客様が増えている。
		タクシー運転手	乗車回数がやや多くなった感じがする。また、法人関係の中長距離が増えた感もある。
		タクシー運転手	お客様の利用頻度が増えている。
		レジャー施設	入場者数が徐々に増えてきている。
	住宅販売会社	地主の土地活用のためのアパート需要が増えてきた。	
	企業	製造業（印刷業）	来店者数の増加が見られる。
		製造業（非鉄金属）	弊社が所属する自動車業界については、良好に推移している。
建設業		仕事の依頼が増えている。また、個人様からの見積りも多い。	
雇用	求人開拓員	私は、茨城就職センター県南地域センターで求人開拓員をやっている。1月23日に、元氣いばらき就職面接会（つくば会場）を行った。求職者74名来場、内定者7名が出た。他にも辞退された事業所もあり、それだけを見るとやや良くなっている。ちなみに、去年の9月9日土浦会場は4名内定。	
変わらない	家計	スーパー	3か月前と比べると良くなってきている。1月・2月とプラスになっているが、前年比ベースで3月とではプラスマイナスの差はあまりない。
		コンビニエンスストア	CVSの客単価、購入場面を見ても、良くも悪くもなったとは言えないと思います。
		農産物直売所	街中の直売所のため、近くのいつものお客様が来て下さっているので変わらない。
		小売業（食品・酒類）	季節ものの売上げは別と考えると、来客数・客単価は、ほとんど変わりが無い。
		小売業（生花店）	昨年と売上げはほとんど変わらない。まちの中心部状況を考えるとましな方。中心市街地への人の張り付きがほとんどなく、それによって、小売店の張り付きはほとんどない。外商以外に売上げが伸びる理由が見当たらない。
		専門スーパー	3か月前と変わらず景気は悪い。
		ガソリンスタンド	弊社ガソリンスタンドでの1台当たりの平均給油数量に変化がない。
		和食食堂	客数が少し減っているが、客単価が少し上がっているため、差引き0の状態である。
		都市型ホテル	宿泊及びレストランの個人需要は多少上昇傾向でしたが、単価においては、宿泊や宴会を含めて減少方向であり、このことから相殺しても3か月前とあまり変わらないと思えました。
		都市型ホテル	(3か月前は)クリスマスや年末年始の時期であり、予約件数は多少多かったため、売上げは多少上がった。今月もそのまま一人単価は変わっていないので、景気は変わっていないように思われる。
		旅行代理店	食品・日用品などの物価上昇もあり、旅行や娯楽にかかる費用はだいぶ抑え気味なように思える。
		タクシー運転手	夜間の動きが鈍い。長距離のお客様が、タクシーに乗らずホテルに宿泊している。
		ゴルフ場	ゴルフ場の季節要因を除くと、お客様の様子に変化は感じられない。
		ゴルフ場	特に変化はなく、季節柄、例年勢いが無い。ただ、昨年の大雪から見れば良い方だが、良くも悪くもない状況が続いている。
	企業	製造業（食料品）	1～2月は、12月の消費疲れからか毎年売上げはあまり良くありません。せめての救いは、ガソリンや灯油の値下げ位ではないでしょうか。
製造業（食料品）		消費税8%導入が定着したようでも変わりません。	
製造業（飲料）		変化が見られない。	

変 わ ら な い	企業	製造業（家具・装備品）	バブルがはじけて仕事も落ち着いてきました。消費者の割合はサラリーマンが多く、また、現在の国内では、生活費も昔と変わりました。昭和1桁生まれの方と違い、団塊の世代以降の消費者の方々には、価格の低いものを求められる風潮が多く、数は変わらないが、売上げが停滞しています。
		製造業（窯業・土石製品）	当社の業績でいえば、東北地方は復興事業が旺盛なので、増収・増益を確保できているが、関東は減収。中部、関西地区は減収または横ばいで、東北地区に依存している。
		製造業（一般機械器具）	何の変化もなかった。
		運輸業（倉庫業）	今月は、年度末でもあり、荷動きは例年と同じく活発になる予想ですが、毎年のことである。在庫が増えている貨物については、昨年よりも、すぐ発送できるよう対処している。食品関係については好調を維持しているが、原料輸入が少し落ち込んできている。全体的に見ると変わらないと判断する。
		金融業	全体的に業況等に特段の変化はない。不動産、設備資金の需要等も依然として少ない状況にある。
		不動産業	不動産業界としての県南部は、TX方面の拡大している地域と旧市街地の縮小している地域を平均すると、プラスマイナスで変わらずと思う。また、業者間格差としては、プラス業者とマイナス業者で、ややマイナス傾向にある。法人化をしてニーズに対応できた会社と、個人的で右肩の下がる商法では、ますます差異が広がっているように見られる。
雇用	求人広告	クライアントと接するなかで、季節要因を除けば、前向きな発言を聞かない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	原材料の高騰による各メーカーの商品の値上げのためか、買い控えがあり、買上げ点数が減っている。
		タクシー会社	安売りの時しかスーパーは混まない。
		パチンコ店	相変わらず客足が重く感じる。特に、土日などの集客を期待出来る日が、平日の感覚になっている。
		ボウリング場	大口消費はそれなりでも、小口消費はなかなか渋くて、来場回数が減ったり、来場時のプレー数が減ったりで、新規客の開発が追いつかない状況です。
		理・美容店	景気のせい、仕事内容のせいは分からないが、客足が減っているのを感じます。いまだに、安いほうへと移っていつているようです。そういう意味で、少しずつ悪くなっている感じはします。
	企業	農業関係者	3月期(初旬まで)の来客数・客単価を前年12月期と比較すると、両者共に減少している。これは、毎年の傾向である。しかしながら、前年同期と比較すると、両者共にその減少幅が大きい。
		製造業（窯業・土石製品）	工事進捗の遅れ(建設関係の労働者不足)により、出荷が遅れている。
		建設業	当社での受注状況からしても、また、友人・知人などと広く情報交換をしている中で、友人から「うちは特別なかもしれないが、受注・注文が半分以上に減少している。こんなことは、ここ数年なかったと思う。」との声。しかし、社会全体を見回しても、周囲では景気の悪そうな雰囲気環境でもない。本当に仕事がなく困り果てた状況や心にゆとりのない状態ではなく、もう疲れ果ててしまった諦めの姿なのか。
		建設業	今月は年度末なので、工事受注が多いはずなのですが、それほどでもない。3か月前と比べるとかなり少ない。しかし、今月分の工事量はなんとか確保したので、景気はやや悪くなっていると判断する。
	雇用	人材派遣業	中小企業から、受注数の減少との声が聞かれる。
学校就職関係者		企業の新卒者採用が落ち込んでいる。	
悪	家計	スーパー	昨年は、増税前の駆け込み需要で売上げを伸ばしたため、前年対比では非常に厳しい状況にある。特に、酒部門では、前年比で30%以上下回っている。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	雇用	求人広告	最近、クライアントからネガティブな話がある事が少なくなった。求人への意欲も高まり、採用活動が活発に行われている。求人掲載をした後の反響に左右されず、次々と人材確保の計画を耳にするようになった。生産拡大や、増員などの景気の良いフレーズが会話の中で多くなった。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	お客様の財布の紐が緩くなった。
		製茶販売	初めてご来店のお客様等、このところ来店される方が増えた。
		和食レストラン	3月は送別会などが多く、来客の増える時期ではありますが、3か月前(12月)の前年比がマイナスだったのに対し、1月・2月とプラスに転じているため、今月は少し良くなると予測される。
		タクシー会社	法人客のタクシー利用が増えている。また、燃料費の値下げもあり、経費削減につながっている。
		タクシー運転手	朝の駅、及びホテル等からのお客様が多くなってきている。景気が良くなっていると実感している。
		ゴルフ場	圏央道開通も決まり、先行予約を含め良化している。3か月前に比べ一般道の交通量も増し、県西エリア全般的に活性化している印象。総合的に景気は良くなっていると判断している。
		ゲームセンター	前年とほぼ同じ売上げか、上回っている状況が続いている。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	業界の季節変動。
		製造業（金属製品）	年度末という事もあってか、引き合い件数が増えている。しかし、新年度早々に、その分減少しなければ良いが…。
		製造業（一般機械器具）	受注量が3か月前より多くなっている。外注先も、当方の注文に対して他の注文とちがひ、納期がこのところ遅れがち。
		建設業	今のところは職人が足りない。
		金融業	運送業者等は、燃料価格の下落により、一時的ではあるが収益改善が見られる。
		不動産業	高額物件の決定率が高くなっている。
	雇用	人材派遣業	新しい会社からも仕事が増え、良くなっている。
変わらない	家計	スーパー	来店客数は微増であるが、買上げ点数微減のため、数字上変化はない。
		コンビニエンスストア	質が良い商品であれば、価格が高くても購入して頂けるお客様の心理は変わっていない。
		コンビニエンスストア	買上げ商品については、安い物ではなく、価値があれば安い価格でなくても購入されている傾向は変化しておらず、環境変化の無い地域では客数についても大きな変化は見られていない。
		衣料品販売店	ずっと昨年対比割れを続けてきたが、なんとか100%前後に落ち着いてきた。
		家電販売店	昨年は消費税増税前の駆け込み需要があったため、今年は反動が大きい。CATVのデジアナ変換が3月末で終了するため、ブラウン管テレビから液晶テレビへの買い替えが増えている。
		自動車販売店	3月までは前年の消費税導入前の需要があり、その反動で車市場は前年を2割近く下回っている状態です。軽、コンパクト車中心の販売が多く、収益確保が難しい月が続いております。
		農産物直売所	当店については、来店客数・客単価等から見て、変わらない状況である。
		和食食堂	御来店のお客様数、配達共変わらないようです。
		日本料理店	原油安の影響により、若干持ち直しつつあったが、最近ガソリン価格も高騰し、都市部と異なり庶民の実質賃金は低下していると思われる。なお、筑西市は人口減少率で日立市、土浦市に次いで3位であり、企業が精一杯努力しても変わらないと思われる。
		飲食業	今月は、毎年売上げの悪い月なのですが、今年は3か月前と同じような売上げを上げています。
		都市型ホテル	来館数・客単価等、特に変化が見られません。
		ビジネスホテル	特に大きな変化はなく、横ばい状態。プラス材料もあったので、大きな落ち込みにはならず、2月としては”まあまあ”と言えた。
		タクシー運転手	市民の動向に変化が見られない。
		タクシー運転手	売上げ高が3か月前と同じに思う。
		ドライブイン	来場者数・客単価とも変化はなく、景気回復は見えない。
		ゴルフ場	予約の状況により判断いたしました。
		レジャー施設	当施設来店客数及び客単位から考えても、横ばい状態が続いている。
		理・美容店	女性客は増えたように感じるが、男性客のサイクルが更に伸びたように感じる。
		理・美容店	最近、若いお客様のカットの周期が短くなってきている。
住宅販売会社	来店数の増加が見られず、買い控えが続いている。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	昨年の雪の被害等でまだ施設(ハウス)等が復旧しておらず、以前と変わりなし。
		農業関係者	特に動きがない。
		製造業(食料品)	消費税アップの影響や円安による価格上昇が続いているが、それを超えるような状況が感じられない。
		製造業(印刷・同関連業)	円安・ガソリン安、そして株高・原料高(輸入品)と、一流企業は各々にメリットがあり高収益を上げているが、地方の企業・中小零細企業には、まだ恩恵が回ってこない。国は地方創生というが、具体的な対策はまだない状況だ。地方も頑張っているが、大企業が零細企業を育成する意志がないことには地方はやっていけない。
		製造業(化学工業)	エレクトロニクス業界、自動車業界とも顧客により好不調。まだら模様だが全体としては横ばい。
や や 悪 く な っ て い る	家計	学校就職関係者	求人における初任給は上がっているが、中小企業の給与水準は上昇しておらず、円安の影響で生活必需品は値上がりをしているため、一般家庭の家計を圧迫している。庶民感覚として生活が良くなっている感覚は全くない。
		商店街代表者	昨年末に比べ、ますます冷え込んでいると思われる。2月22日に近くの大規模スーパーが閉店した(移転の為)。商店街としては、駆け込み需要の恩恵に少しあずかれた気がするが、個人商店としては個客のお客数が激減している。
		スーパー	昨年の3月は消費税がらみで駆け込み需要があったが、今年はそれがない。昨年の12月より今月の13日まで、断続的に加工食品(食品・菓子)や和日配(漬物・練り製品・こんにゃく等)及び洋日配(乳製品・デザート等)を全面的に陳列変えを実施。その反動のためか、今月は2月と比較すると伸び率が鈍化した。
		専門スーパー	増税も含めて、お客様が値段に対して敏感になっている。
		和食食堂	今月は卒業や異動の時期であるが、例年と比べ来客数が減って客単価も低くなっているため、やや悪くなっている。
企業	製造業(食料品)	食料品の一連の異物混入対策のために時間を取られ、春からの新製品の予定が大幅に狂ってしまった。売上げ自体も例年より落ち込むだろう。	
	製造業(印刷・同関連業)	円安により、紙等の材料の値上げが始まっているが、製品価格に反映することが出来ていない。結果、採算が悪化している。	
	製造業(印刷・同関連業)	仕事量の下落は下げ止まり感があるが、価格の低下傾向は止まらない。物価上昇は、費用経費面を直撃するだけで、販売価格は下落というダブルパンチ状態は変えられない。景気回復など、どこの話かという状況。大手だけは値上げして収益倍増でも、地方、中小企業はますます厳しい。	
雇用	公共職業安定所	前年度に比べ、確実に正社員で良質な条件が増えてきている傾向であるが、新規求人数は5か月連続の減少。有効求職数は16か月ぶりに増加。雇用保険受給者実人員は710人で、前年同月比17.9%増と日立化成Gの影響となっている。就職率・充足率は減少している。紹介数・紹介成功率は増加しているものの、極端な求職者の増加により、追いつかない状況です。	
	求人开拓員	企業を訪問して「人手が足りない、募集しても人が集まらない。ここ2~3年で急に人が来なくなった」と言われる。求職者は選べる状況なのかも知れないが、カウンセラーが言うには、「就職は難しい」らしい。企業側は人手が足りなく、仕事が回らない。製造、売上げに影響がある状況であると思う。	
悪 く な っ て い る	家計	旅行代理店	旅行参加者が極端に少なくて困ってます。スキーなどのツアー客も減少しております。また、燃料の値上げが再び迫ってきています。一時は下がってほっとしたら、最近ですが、元に戻りつつあります。
		ドライブイン	今月は、3か月前と比べ客数・客単価共に減少しているため、景気は悪くなっていると思われる。
		クリーニング店	今年は1年前と比べると、かなり悪いです(3か月前も含む)。お金を出す事に、かなり渋っている気がします。
企業	製造業(窯業・土石製品)	当社は加工卸業ですので、お得意先である商社、問屋、仲間同業者、ブローカー等へ発注のお願いを毎日していますが、皆さん異口同音に「仕事が少ない。消費税上げ以降かつてない売上げ減だ。過去経験したことがない。仕事がない、取れない状況だ。」と言う人が少なくありません。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	例年、3月の年度末までは非常に忙しく、4月5月はその反動で暇になるのだが、今年は職人不足による工期の遅れもあってか、売上げのピークが後ろにずれているようである。
		スーパー	株価が、各社のペア状況によるが今のところ期待できる数値動向と思われれます。今後の政策に絡んでくると思います。
		スーパー	よほどのことがない限り、悪くなる要素がない。
		スーパー	2月・3月初旬と(売上げが)前年並みの数字。外に出る機会が多い季節は消費意欲が増えると考えている。前年は消費税UPがあったので、前年より増加は明らかである。
		コンビニエンスストア	客数は伸びており、店において客単価を上げる工夫をすれば良くなっていくのではと考えます。
		小売業(弁当・惣菜店)	やはり、景気が良くなってきているという感じが空気として感じられる。ただ、具体的に収入が増えた、売上げが伸びたというような話は聞こえてこないで、若干の不安もあり、期待を込めて。
		小売業(燃料)	商品(ガソリン他)の価格が安定すれば、需要(販売量)増につながる。
		小売業(時計)	あまり迷わず買い物をするようです。
		スナック	毎年、異動の時期や暖かくなってくると出かけたくなったりする人が多いように思う。
		中国料理店	景気の良い職業やそうでもない職業のお客さんから色々なお話を聞くので、今後は全体的に景気が良くなってくれる事を願い、3か月先はやや良くなっていると思います。
		観光型ホテル	年度末という状況も影響してか、今現在がかなり悪い。
		ゴルフ場	地方創生の事業動向を注視。期待感の動きはない。3月時点の4~6月の予約動向は、計画比43レベル、前年比59レベルで動いている。前年並みのペースが少しずつ良くなっている。
	企業	林業関係者	新年度の政策案等を考え良くなって行って欲しい。
		製造業(電気機械器具)	円安の状況によっては、現在よりも良くなる見込みがある。
		製造業(電気機械器具)	生産高が、4月以降は少しずつ改善される。
		製造業(精密機器)	良いという話は多くなってきてますので、良くなっていると思います。希望も含めて。
		運輸附带サービス業	見積り等の案件が少しずつ伸びてきているので、現状よりは良くなると思っている。
	雇用	学校就業関係者	製造業を中心に賃金のベースアップがあったと聞き、企業から来年度の生徒を欲しい旨の話が既にある。
	変わらない	家計	コンビニエンスストア
衣料品販売店			これから上昇するようだが、まだ弱い。
農産物直売所			3か月先では、現状と変わらない。
小売業(酒類)			良くなる要素が聞かれない。大手企業は好景気と言っているが、異動する人も多いと聞く。
小売業(水産物)			最近になって、メディアで福島放射線の記事がまた取り上げられており、今後の風評被害が気になるので“変わらない”にしました。
食堂			誰も言う事ですが、「年金だけで食べていくのが大変だ」との声。特に、働くのが嫌な人は生活保護を受けてサテライト・パチンコに夢中になって遊んでいるのは納得できない。一生懸命働いて、車内でおにぎりを食べている方考えるべき。
観光型ホテル			今後3か月先の予約状況は、前年同期とほぼ同じになってきており、景気はほぼ変わらないと判断する。
タクシー運転手			将来性が見受けられない。
タクシー運転手			大手企業の飲み会自粛、残業制限等の話が少々あり、まだまだ景気回復とはいかないと思われます。
タクシー運転手			このところ、当方のビジネスステリトリーに一般・企業とも景気を押し上げるグッドな話題が入ってきません。よって、私の経験判断で「変わらない」としました。
ドライブイン			(高齢の方で)平日にドライブする方は、最小限に買い物をする傾向があるので、客単価が相変わらず低め。ガソリン価格がだいぶ低めなので、遠出に期待したい。
レジャー施設			昨年の秋頃から、前年よりお客様数・売上げとも増えたが、今年になって伸び悩んでいる。
ゴルフ場			閉鎖するゴルフ場が増えても、プレーヤー減少もあるため、変わらないと思う。
住宅販売会社			この3か月間で変化があるとは思えない。

変 わ ら な い	企業	水産業関係者	きっかけがない。
		製造業（電気機械器具）	作業量は少しずつ増えるものの、受注案件はない。
		製造業（電気機械器具）	利益率が3か月右下がりであり、3か月先もこの傾向は続くと思われる。
		製造業（電気機械器具）	今よりは悪くはならないと思うが、良くなる要因も見当たらない。
		製造業（一般機械器具）	受注が計画通りとなっている。
		建設業	お客様の設備投資は計画通りに進められていると思われ、計画の前向きな変更も、中止や縮小といったことも聞かないので、景気は変わらないと思う。
		運輸業	住宅関連の輸送は減っているが、新しい貨物・顧客が増えている。
		金融業	企業城下町として地元大手企業に依存している部分が多く、今後の景気についても、現状においては変わらないと思われる。
		不動産業	消費税増税先送りによる一服感が残っており、まだ好転しないと思われる。
		情報通信業（情報サービス業）	良くなる要因が見受けられず、しばらくは今の状況が続くと思われる。
雇 用	求人広告	先々の予算・見通しを聞いている限り、何か大きく変わる・上がる様子はない。	
	公共職業安定所	仕事量は増加傾向にあるものの、受注価格等が依然厳しく利益へ直結されない。また、建設業などでは受注は順調に推移しているが、技術系社員が不足するなど苦戦している。	
	求人開拓員	家電メーカーでの派遣社員募集が出ているが、一時の補充で、継続性はないと感じる。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	自動車販売店	円安の影響で、いろんなものが値上げされると発表になり、消費者の財布の紐は固くなっていくと思われる。生活に必要なものが優先され、高額なものは後回しになっていく。
		旅行代理店	3か月先の受注が、前年と比較し、現在下回っている。
		ゴルフ場	現在の流れが、そのまま推移すると思われる。
		クリーニング店	お客様から景気の良い話はほとんど聞かない。
	企業	製造業（電気機械器具）	4月以降の見通しが、不透明である。
		製造業（輸送用機械器具）	軽自動車の売れ行きが継続するのか注視したい。
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	人口減が止まらない。選挙が行われる。消費税率アップに対し、消費マインドが萎縮する。
		居酒屋	宴会がない。
		タクシー運転手	「タクシー乗車は必要な時にだけ」というお客様との会話が多い。
企業	製造業（電気機械器具）	発注先フォーキャストによる。20%~30%ダウン。	

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	販売店においては、昨年比ベ車検の対象台数が2割増しである。代替、入庫のチャンスが多い。
		ゴルフ場	毎年の事ではあるが、これからゴルフシーズンになり天候も落ち着いてくると予測され、予約が増加している。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	消費税増税から1年が経過し、落ち込み傾向から徐々に上向くのではと思う。
		スーパー	増税から一巡し、大手では4月以降ベースアップなど話題になっています。地元では、あまり直接影響のない事かもしれませんが、少しずつ影響が良くなって出てくるのではないかと思います。
		レストラン	3か月先の申し込み状況も良くなってきている。
		都市型ホテル	受注状況を見ても前年より上回っている。
		タクシー会社	消費税率アップに対する抵抗感も、やや薄らんできているように感じられるので、財布の紐が少しは緩くなりそう。
		タクシー会社	茨城県の景気動向は変動が微妙にあると思われるが、政権基盤が揺るぎない現状から安定的な消費増があり、企業の設備投資も、先の消費税増税を見据えて積極的に行われ、人の流れも多分にあると判断します。また、一般消費者も同様に自宅の新築、増築、改修等の動きがあり、全体的に好景気の要因になると考えられます。
	企業	製造業(金属製品)	春～夏にかけて、かなり多くの案件が出ています。選別受注するような状況になると考えられます。
		製造業(精密機械器具)	OEM先数社から、季節を目的にした発注予定案を打診されています。
	雇用	人材派遣業	今後も仕事は増えていく予定。
		学校就業関係者	2016卒の求人に関しても、2015卒の学生同等の求人が見込める状況にあると思われる。このため、各企業が前向きの良い方向に動いていると思われる。
求人開拓員		国・県・市町村の公共事業などあり、求人人数は増加傾向です。家計支援、また、春の賃上げが、非正規職員・中小企業まで行き渡れば、個人消費の向上につながり、国内消費も活発になります。	
変わらない	家計	商店街代表者	商品の受注はあるが、最近は何でも取り敢えず見積りを取ってからの発注になり、販売価格、納品価格をかなり下げているため利益が出ていない。少量でも競争見積りが多く、納品総額300円から3,000円位の商品でも見積書原本を提出に伺い、受注したとしても、来店ではなく配達納品になり諸経費が見込めない。
		百貨店、総合スーパー	中元・夏物セール時期であるが、慎重な購買は続くと思える。
		百貨店、総合スーパー	慎重に商品を見定めて購入、必要な物を今欲しいという購入の形は変化しないように思える。衝動買いやまとめ買いといった買い方は、今後姿を消していくのではないのでしょうか。
		スーパー	4月に値上げされる商品が多くあるので、売上げは芳しくないと思われる。
		スーパー	景気回復の好材料となる政府案が見えてこない。
		家電販売店	客の様子で、景気が悪いと言う人が多い。なかなか購買に繋がらない。
		農産物直売所	ポイント2倍や〇〇セール等、チラシが入った時に売上げが上がる傾向が続いている。平日定番商品の動きは鈍い。
		楽器販売	今月の動きが良いので、これ以上良くなるかと問われると、変わらないと考えられる。
		レストラン	大きな変化は感じられない。
		レストラン	春闘、ベア等の話は出ているが、すぐに良くなるとは思えない。一部では良くなるどころと、逆に厳しくなるところが出てくると考えられる。
		観光型ホテル	特に目新しいことが見当たらない。
		旅行代理店	現状と同じく、海外旅行の状況の先行きが見えない。
		旅行会社	給料や景気が良くなると思えない。
		ドライブイン	景気回復が見込めない。
		観光名所	東京オリンピックや復興特需等、地方へ影響が出るのは遅れて来ると言われますが、あまり期待は出来ません。嗜好品の売上げの伸びはあまり良くないですが、食料品・飲食販売が好調なので、しばらくこのような状況が続くと思えます。
		レジャー施設	新規の問い合わせもない。
理・美容店	6月は梅雨という事もあり、他の月よりもパーマの来客数は増えるが、ここ最近、ストレートや矯正パーマのお客様が減少しているため、売上げに繋がらないように思う。		
住宅販売会社	省エネ住宅ポイント制度がどう影響してくるか、まだ不明。		

変 わ ら な い	企業	製造業（印刷・同関連業）	仕入単価の値上げの話が幾度となくあがっているが、本当に実行されれば悪くなるかもしれない。	
		製造業（印刷・同関連業）	良くなる気配が感じられない。	
		製造業（窯業・土石製品）	先が全く見えない。	
		製造業（一般機械器具）	今は良いけれど、先は見えません。このまま現状で行きたいです。	
		運輸業（道路貨物運送業）	消費税増税後の回復が出来ていない。	
		金融業	年度末・新年度を跨ぐ時期に差し掛かっているものの、依然として個人消費は低迷しており、特定の業種を除いては大きな変化なく推移するものと思われる。	
		不動産業	相変わらず空室が多く、年々増えている感じがする。	
		情報通信業（情報サービス業）	市場は、例年より動きが感じられるが、顧客の投資決断は、当該年度業績の見通しが密接に関連し、年度後半に集中する傾向が見られる。従って、市場に大きな変化がない限り、3か月先の景気は、今と変わらないと料する。	
		サービス業（コンサルタント業）	太陽光発電の売電価格が下がったため、太陽光発電施設の開発が減っていくと思われる。そのため、徐々に景気が悪くなっていくと思われる。	
雇用	求人広告	予算向上の声が聞こえない。		
	公共職業安定所	当所独自の調査結果から見ると、管内事業所における今後の見通しとしては、「好況・やや好況」の割合が前回(平成26年6月)、前年同月(平成26年1月)に比べ、わずかながら減少しており、「不振・やや不振」の割合は前年同月に比べ変わらず、前回に比べ増加しており、事業所間の景況感にバラツキがあり、楽観視できる状況にない。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	4月は、昨年の消費税増税の影響で前年より支出が多くなる(昨年は、3月に駆け込み需要があったので)。5月からは、ここ最近(3か月)の利用金額が96%なので、傾向は変わらないと思います。	
		スーパー	依然として財布の紐が緩まない。4か月連続で客数、売上げが前年割れしているの、この状態が今しばらく続くと思われる。	
		コンビニエンスストア	アイスやカップラーメン等、普段使いの商品の価格増に対する不安感や、メディア等での見通しの不明瞭さからやや悪いと感じます。	
		都市型ホテル	現在の予約状況は、昨年よりも厳しい状況であり、今後大きく改善されることは期待出来ない。	
		タクシー運転手	3か月先の6月は梅雨の時期であるため、客数が若干増え、売上げが少し増加する時期であるが、それは毎年の事である。このところ、客単価や利益率は減少傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや悪くなると思う。	
		レジャー施設	バス運賃の大幅な値上げなどもあり、団体客の減少は避けられない状況。その分、個人客が増えるという要素も見当たらないため、レジャーにかかる予算は、やや動きが悪くなると思われる。	
		スパ・銭湯	春闘時期になり、大手企業の給与アップは伝えられると思いますが、全体的な収入の増加がない限り、改善は見込めないと思います。	
		建築設計事務所	数か月前までは建築資材の生産が間に合わず、納期が随分とかかっていたが、ここに来て納期も安定してきた様子だ。	
		企業	農業関係者	これから春の農繁期となるが、昨年の米価大幅下落の影響で、耕作を放棄する農家が増加する傾向にある。これにより、農業資材の需要も減少が懸念される。
サービス業（広告業）	新年度の広告予算が昨年より減少気味と感じる。特に流通小売店の広告予算削減が目立つ。自動車関連は、販売は多少下がってはいるものの、販促は積極的である。			
悪 く な っ て い る	家計	割烹料理店	3か月後という、5月で花見も終わり、夏前という(イベントごとなど)何も無い時季。そして何より、大型連休でかなりお金を使ってしまったので、5月後半は、財布の紐はかなり固いと思われます。	
		企業	製造業(食料品)	長年続いた消費の低迷が、向こう3か月で解消されるとは思えない。
			建設業	個々の将来展望が良くない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	去年は4月に増税があり、4・5月が売れていないので、今年は去年よりかなり売れると思う。少しずつ増税の影響が薄れています。
		スーパー	衣料品の売上げダウンが大きい。
		コンビニエンスストア	収入が大きく伸びる要素はなく、先行きへの不安材料が多いのは事実。ただし、増税して1年が経ち、一時の冷え込みよりかは落ち着くと考える。この機会に、価値ある商品や質の良い商品等を提案し、積極的な商売をしていくことが必要。
		家電販売店	増税後クリアして、通常ラインにもどると予想できます。
		農産物直売所	消費税増税から1年経過により、消費が伸びる。
		和食レストラン	売上げ回復基調。
		洋食食堂	ランチタイムを中心に客数の増加が見られる。
		タクシー運転手	例年の予定として、コンビナート企業関係の定期修理(4月～5月)が実施される。
	企業	理・美容店	全体的に景気の上向きな動きが出始めているので、少しずつではあるが、良い方向に向かっていると感じる。
		製造業(食料品)	新製品の開発を継続的に行い、県内の材料を積極的に使用して催事等に参加をしたいと思う。お客様を待つのではなく、お客様の来る所に向向いて販売をする。自社店舗の周囲環境がどんどん変わり、商売として厳しくなってきたり、販売方法を変える必要を感じている。景気は良くなるとは思えないが、良くしたいという気持ちです。
		製造業(食料品)	為替円安と株高続行、及び原油安にて消費上向き傾向と見ており、食品等の値上げも一巡して安定してくるのではないかと。
		製造業(電気機械器具)	新規案件の生産開始もあり、その他、設備導入予定と併せ、受注増と効率化が期待される。
	サービス業	アメリカの金利上昇による円安誘導は、引き続き継続するものと考えられ、輸出分野を中心に、総じて製造業分野は堅調に推移すると考える。	
	雇用	人材派遣業	このまま願うばかりであります。そして、企業業績に連動して従業員の賃金上げにと繋がれば、派遣者の時給も要請しやすくなると思われる。株高、石油安がいつまで続いてくれるのか。庶民も恩恵に預かれるので…。
変わらない	家計	商店街代表者	大手企業や関連企業・建設業等は、動きは活発化しているものの、消費に結びつかず、物価上昇の影響が心配である。
		衣料品販売店	TVなどの情報で景気回復とは言いが、地方では実感できない。自分自身においても同じである。
		自動車販売店	良くなっているとは聞いたことがなく、どちらかと言えば悪く感じるくらいだと思う。
		小売業(菓子類)	特に良くなる要素も、悪くなる要素もない。
		小売業(薬品店)	中小企業に勤める多くのお客様は、税金は上がっても給与は上がらないと言っている。
		小売業(食品)	消費税8%は頭が痛い。そんなに良くなるとは思わない。
		小売業(書店)	2か月連続で客数減が続いている。横ばいでの推移との判断(天候に左右されるところもある)。
		日本料理店	動きがない。引き続き、お客様より、良い話を聞かないので今と変わらない。
		観光型ホテル	消費税増税から1年以上経過し、増えた分のご利用料金にはお客様も慣れてきたと思われるが、かといって、より上のコースへの希望もあまりない。
		タクシー運転手	アベノミクスと言われているが、中小零細企業まで本当に浸透出来るのか不安に思う。
		タクシー運転手	先行き、季節的要因で、売上げ増が期待できるところがない。現在の乗車率を考えると、あまり変わらないと思われる。
		ドライブイン	大きな景気回復へ向けた要素が乏しい。
		ゴルフ場	予約推移を見てもあまり変わらない。
		レジャー施設	経済環境において、特段の変化が生じないものと想定している。
理・美容店	今のこの政治・景気からだと、3か月後もあまり変わらないと思う。		
住宅販売会社	年度が変わって、明るい話題が増えることを期待。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	まだまだ地方にまで、景気が上向いたと思われる状況にない。
		製造業（食料品）	末端には右肩上がりの傾向は見られず、一向に明るい兆しが見えません(変わらずに)。
		製造業（食料品）	地方創生政策の中で、プレミアム商品券の発行、また、地域特産品のプレミアム感がどれだけ功を奏するか期待している。
		製造業（化学工業）	市況の軟化を背景に、海外メーカーとの競合も激しくなっており、当面はシェアの確保に注力が必要か。
		製造業（鉄鋼業）	世界経済の状況を見据えつつ、フル生産を維持していくことが課題の一つ。
		製造業（金属製品）	一般消費者に、消費向上ムードが少ない。
		金融業	業種によっても様々ですが、円安によるコスト増加を価格転嫁出来ない業種を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続くと思います。設備投資に対する資金需要も依然として慎重であり、3か月先の景気も変わらないと思われる。
		保険業	景気低迷のまま推移。
		不動産業	周りに景気が上向く要因がありません。計画的に投資をしている会社は安定収入が入るため、景気にはあまり左右されないと思う。
		火力発電所	出荷見込みが前年度並み。
雇 用	民間職業紹介業	求人企業は増えてきているものの、求職者が少なくマッチングがなかなか厳しい状況である。	
	公共職業安定所	円安が続いており、輸入に係る負担も大きい。個人消費に関する賃金アップも、大企業以外では鈍いと思われる。	
	学校就職関係者	現状がよいことから、あまり期待は出来ないと感じられる。	
	求人開拓員	今後、乳製品の値上がりが予想されており、消費意欲が湧かない状況が続くと思う。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	値上げが予定されている商品がある。
		コンビニエンスストア	対前年比と比較すると、増税直後の買い控え(増税前の買い貯めによる)の時期よりは良くなると思われます。一方で、工業地域の定期修理(5月～7月)については、昨年度の歴史的規模に比べると例年並みになると聞いています。その分、地域の売上げに占める影響は昨年より少なく、厳しくなると思われます。
		精肉店	利益率が悪くなっているため、現状維持が精一杯になると思う。
		割烹料理店	例年、時期としては近くのコンビニで定期修理があり、忙しくなることもあるが、今年は定期修理がないよう期待できない。
		タクシー運転手	食料品を中心とした相次ぐ値上げにより、先行きは不安だけである。
		スーパー銭湯	対象にしているお客様の高齢化が進んでいるので、年金支給月やお孫さんなどへの出費が入館自体に影響している。
		企 業	建設業
建設業	景気もあまり良くない。		
運輸業（道路貨物運送業）	長期滞在在庫処分が一掃し、新年度に向けて生産が高まるはずであるが、今回は期待出来ない。最低限のレベルでの需要と供給のバランスでの荷動きとなるのではないかと。大量の物流展開は望めない。		
内装工事業	消費税の増税、給与の現状維持もしくは減給、このような状況で景気が回復するとは思わない。		
悪	家計	クリーニング店	行事も終わり、梅雨の時期でもあり、客数が減少するでしょう。

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	夜に飲み歩くお客様が増えている印象ですので、18時以降の件数は増加が見込める。
やや良くなっている	家計	スーパー	4月以降は、昨年の増税により買い控えがあった分、今年は前年をクリアできるものと思われる。
		スーパー	客数が伸びており、今後についても期待出来る。
		コンビニエンスストア	現時点では増税はまだ先で、消費税増(8%)の反響も今はすっかり落ち着いている。
		和食食堂	これから観光シーズンでもありますし、お客様は増えると思う。まだ、宴会のお客様は目立って上向きではない。
		タクシー運転手	水揚げが上向き傾向に感じられる。飲食店関係の顧客の増加期待感がある。
		タクシー運転手	お客様の会話の内容等で。
		ゴルフ場	土曜・日曜の社用接待の予定が早まっているせいか、予約の申し込みが早くなっているように感じる。
		レジャー施設	これまでとは別の客層(=新規顧客)が徐々に増えてきていると思われる。
	住宅販売会社	企業の決算(及び春闘)の結果によっては、潜在需要を掘り起こす契機になるかも。	
	企業	製造業(印刷業)	筑波大の新入生も入ってくることを考えると、来客数の増加が見込まれる。
		製造業(非鉄金属)	現在の状況が、もうしばらく続くものと予想している。
		建設業	いつもなら、今月よりも3か月先の方が、工事受注が少ないのだが、今月があまり良くないので、増えるだろうという希望的観測もある。実際、来年度予算の見積りが昨年より多いのが、そのことを物語っている。
		建設業	知り合いの不動産業者の方から、土地取引が活発になってきているという話を聞いた。
	雇用	求人広告	求人業界全体からすると、雇用に前向きな企業が増えてきている。
求人開拓員		事業者様より、ハローワークに求人を出してもなかなか決まらないので、就職支援センターに登録をしたいという申し出がある。事業者から、ホームページ等での問い合わせが増えていいる。少し求職者が有利になってきているのかと思う。	
変わらない	家計	スーパー	3か月先も景気上昇する判断材料なく、変わらないのではと思います。
		スーパー	イベントにはお金を使う傾向はあるが、普段は必要最低限かつ単価の安い商品の出費に留まると見ている。
		家電販売店	大きな変化がない限り、現状との変化はないと考えます。
		農産物直売所	1月2月は、野菜類などの入荷も少なく、お客様も減っている。
		小売業(食品・酒類)	都市部では、商業施設が多く建設されているので良くなりそうな気配があるが、それに反して、郊外は良くなる要因が見当たらないように思える。
		小売業(生花店)	近隣店舗が売上げ低迷で、また一店舗閉店へ(3月末で)。ますます、商店街が暗くなってきており、夜間の通行人はだいぶ減ってきている。夜間は男性でも怖い感じがする(歩道が暗く車両の通行も通勤者送迎車両がほとんど)。
		専門スーパー	良くなる要因が思いつかないので変わらないにしました。
		ガソリンスタンド	大きな外部環境変化の可能性がない。
		和食食堂	注文するものが、単価の高いもの・低いものと分かれてきている。今後も続くと思われる。
		洋食食堂	店側がイベント広告をしないと、特別に集客効果は見込めない。クーポン・フリーペーパーの営業は毎日ある。一時的に集客できても、次にリピートさせるのは難しい。対応ができないのではと、今回もお断りした。
		都市型ホテル	オンハンドの受注状況は昨年とあまり変わらない。また、周年行事も定期的に大手に限らず開催されているようなので、特に景気的には変わらないと思われる。
		都市型ホテル	宴会・レストランにおいて、例年のように予約は入ってきているが、やはり一人当たりの単価はなかなか上がらず、変化がないように思われる。
		旅行代理店	春に向かい、花見など行楽の気分も高まりますが、予算的にはまだまだ厳しい状況です。
		タクシー運転手	景気が上がってこないで、あまり伸びは望めない。
		ゴルフ場	3か月先も変わらないのではないかとと思われる。悪いという事はないが、予約の入りが遅く判断が難しい。以前は早めの予約だったが、ここ数年は1か月位前にならないと動かない。料金を見比べているような感じだ。
		ボウリング場	大企業のベースアップはあっても、ボウリング愛好者の層は、どちらかというと中小個人事業主が多く、所得増もあまり期待できそうになく、数%右下がりが続きそうです。一方、大企業層の職場の親睦会の機会増には期待できそうです。
		理・美容店	この先、消費税の問題などもあり、それほど良くはならないと思う。石油なども多少安くなって、物価も落ち着いてくれれば良くなってくると思うが、下々に浸透してくるのはまだまだ先かな、と思います。

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	特に景気が変わる様子がないと思います。
		製造業（飲料）	季節的に動く以外、変わらないと思う。
		製造業（家具・装備品）	今の時代、変わらないことが良しと思っています。仕事のほうも、低価格のものを考えております。
		製造業（窯業・土石製品）	しばらく工事進捗の遅れが続くのではないだろうか。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		建設業	まったく先が読めない。周りの友人・知人の経営者は、初代経営者が30%、2代目が50%、3代目が20%でしょうか。2代目の経営者には、意気込みやふんばり、ガッツがない。企画力、想像力、初代社長の売上げ・利益の拡大、更に増やそうと経営力の増大を図る意気込みのある若者が見当たらない。目付きのギラギラ光っている2代目は少ない。初代の引継ぎの勉強不足か。しかし、一方で若手の新規創業者の頑張りとはどんどん伸びている。
		建設業	現状を保って、良い状態が続くと思われれます。
		運輸業（倉庫業）	例年と同じ動きと予想している。この時期は、情報も入りにくく、予想が大変難しい。3月下旬～4月上旬頃には、ある程度わかると思われる。3か月先も変わらないと判断しています。
		金融業	土木工事・建設業者等一部の業界については、公共工事の需要等もあり動きが出てきている。しかしながら、経済効果等にすぐ結びつくようなプロジェクトもほとんどないため、引き続き現状程度にて推移していくものと思われる。
		不動産業	プラス面、マイナス面があり変わらずと思う。ただし、需要期であり3か月前よりは取り引きが多くなる一方、昨年対比では消費税8%後、やや厳しい極面もあり予断を許さない状態である。時代の変化に対応しニーズに応えれば、今年1月にはTXみどりのに出店し13店舗に拡大。社員も160人と昨対20人増員した。
や や 悪 く な っ て い る	雇用	学校就職関係者	特に消費動向に動きは見られないため、横ばいが続くと思う。
	家計	スーパー	食品の値上げによる影響が出るのではないかと。
		コンビニエンスストア	少しずつ物価が上昇し、消費が減っていくのではと考えられる。
		パチンコ店	集客イベントなど、注目される部分にも消費効果が結果として出てこないため、良くなると思えない。
	企業	農業関係者	お客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（食料品）	3月から4月にかけてはいろいろな製品、商品が値上げラッシュになってきます。当社で現在使用している原材料や包装関連の値上げも懸念されます。
		製造業（窯業・土石製品）	年度の変わり目であり、例年需要は落ち込むが、特に宮城、岩手では工事が人手不足で、仕事の発注はされても、1年以上工事が開始できなかつたり、高台移転計画が、時の経過とともに当初の計画より移転希望者がどんどん少なくなり、工事の縮小、また目途が立たないために計画が立てられなくなつたりという話が数多く聞かれます。
雇用	人材派遣業	中小企業から、大手企業は良いらしいが、自分の所には、まだ好景気は来ない！との声が聞かれる。	

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	暖かくなって客足が増えてくる。
		スーパー	昨年の消費税増税後1年を迎える。直後の落ち込みからは、大きく回復したいと願っている。年明け後の客数増の傾向が維持できると思う。
		コンビニエンスストア	コンビニエンスストアでは、昨年の増税の影響で4月・5月は厳しかった分、本年は成績が良くなると思う。
		家電販売店	昨年の4月以降は、増税後の消費の落ち込みがあったので、今年の4月以降は良くなっていくと思われる。
		農産物直売所	新年度に向け、物日を中心に、購入単価の向上につながるという期待感を込め、やや良くなると思います。
		製茶販売	今から3か月後は、1年を通してみても一番売れる時期に当たる(製茶業)。そこから一年間で景気回復したかを判断するのは難しいかも？ 原発の風評被害などで売れ行きが下がり、景気低迷で、お茶は生活に必要な物のランク付けでは下の方に当たるのではないだろうか？ 買われる方も値段を1ランク下げたり、一度に買われる本数も少なくなったりする。食べ物・洋服等と違い、なくても我慢のできるものの部類に入ってしまうのではないかと私は心配しています。
		飲食業	「季節的要因を除く」とありますが、当方は、やはり多少なりとも卒業式や入学式、年度末であることの動きに影響されることもあります。むしろ、社会的習慣に期待しており、やや良くなっていると答えます。
		和食レストラン	今年に入って少しずつではありますが、来客数が伸びていて、景気が良くなってきていると感じる部分がある。
		ビジネスホテル	例年同様、3・4・5月は少しづつ人の動きが活発になるので”やや良い”の期待をしている。
		タクシー会社	各企業の業績が良くなる傾向が見られるので、タクシー利用度が増える期待感がある。
		タクシー運転手	会社関係のお客が増えてきている傾向があり、また、一般のお客も多少ではあるが増えてきている。
	ドライブイン	アベノミクスの地方への広がりを期待したいと思います。また、圏央道の開通効果を期待したいと思います。	
	ゴルフ場	圏央道開通により、都内、県外からの流れが良くなると判断している。	
	企業	製造業(印刷・同関連業)	4月には統一地方選挙もあり、大手企業が好調・好景気になれば物は動くし、ペースアップも図られ、半年後位には地方にも良い影響がもたらされると思います。
製造業(化学工業)		エレクトロニクス業界では例年4～6月に受注は伸びる。	
製造業(窯業・土石製品)		業界の季節変動。	
製造業(金属製品)		期待を含めて。良くなって欲しい。	
不動産業		借り換えのお客様が、現在の賃料より高額物件を探している。	
サービス業(コンサルタント業)		圏央道の開通(境IC)による人や物流の流れの変化に期待して。	
雇用	人材派遣業	仕事の量が増え、久しぶりに力強さが出ています。	
	求人広告	現時点で、3か月後、半年後の採用計画が既に出ている。また、製造業のクライアントから相談を受ける時に、先方の増産計画や受注状況を聞くが、それが多方面に広がっている。そのような話から、今後の見通しは明るいと感じている。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	お客様の買い控えが起こるような情報もなく、安定した動きが続いており、しばらくは継続しそうな雰囲気があります。
		衣料品販売店	しばらく続いていた下降傾向が、そろそろ止まるものと期待している。
		自動車販売店	4月以降はまだ分かりませんが、3か月先も同じ状況と考えられます。
		専門スーパー	今の状況を考えると、変わる、もしくは良くなっていく兆しは見えない。
		和食食堂	このところ、客単価や利益率は減少傾向にあり、今後も変わらないと思う。
		日本料理店	企業の進出の様子もなく、中心市街地の衰退により同業者の廃業も目立ち、業種的に一進一退の状況が続くと思われる。
		都市型ホテル	宴会予約のTELを受けると、「昨年の宴会と同様で…」と前置きがあることが多い。前例があるためか、それ以上の金額を出そうとは思わないようだ。客単価を上げることは難しい。
		タクシー運転手	この1年間見ても変わらないので、この先の見通しがわからない。
		ドライブイン	3か月後の6月は、リニューアルOPENに向けて改修工事が行われており、休業中となるため、予測不能。
ゴルフ場	予約の状況にて推測いたしました。		

変わらない	家計	ゲームセンター	やや良くなっていると思いたいのですが、まだまだ足元が弱いように感じられる。
		理・美容店	東京はオリンピックの関係があるのか、景気が良くなっていると聞きますが、地方ではまだまだ良くならないと思う。
	企業	農業関係者	自然災害等がなければ変わらないが、天候次第。
		農業関係者	何か良くなるような要因がない。
		製造業（食料品）	大手企業ではベースアップが行われているが、中小企業にまではそれが行き渡っていない状況。値上げが先行している状況で、先行きは不透明としか言えない。
		製造業（食料品）	求人を出しているが、応募者がほとんどなく新しい仕事を受ける事も出来ない。求人の多くは大手に流れているように思える。
		製造業（印刷・同関連業）	円安による採算の悪化、需要の減少による売上げの低下傾向に、歯止めが効かない状態が続いている。
		製造業（窯業・土石製品）	先行きが全く見えません。なんとかやっていますが、同業者からは、仕事がないから「辞めたい」や「辞めるんだ」ということを何人からか言われました。当社はメーカー製造業ですが、作るのではなく、「仕事を取る事」が一番の優先課題になっております。
		製造業（一般機械器具）	これまでの流れを見て、変わらないと思える。
	金融業	資金需要は個人及び事業者ともにあるものの、中小企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くものと思われる。	
雇用	公共職業安定所	円安による輸入原材料高騰への懸念も強まっている。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減に加え、物価上昇もあり、消費が低迷し、物が売れないと言っている。管内求人への動きも減少している。	
	学校就職関係者	円安による経費の高騰が続き、利益率はあがらないまま推移すると考えます。大企業におけるの賃上げはあるものの、地元企業への波及は望めず、短期的には今の状況が続くと思われる。なお、地元大手企業で1200人のリストラがありました。どのような影響があるのかはまだ分かりませんが、不安材料です。	
	求人開拓員	今現在、このような状況ならば、数か月の単位で特に何かが変わる事は難しいと思う。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	近くの大型スーパーの移転により、人の流れが激変した。恐ろしいものである。大型店の責務や行政の力を期待する。個人店がいくら頑張っても、以前の商店街に戻す事は難しい。個人商店は、経営者の高齢化に伴い、後継者問題がいよいよ迫ってきている。
		和食食堂	様々な食品が値上げされ、また、値上げが予定されているので、ますます節約されるのではないかと思います。
		旅行代理店	野菜や魚などを含む日常生活品が高い。いつまで続くか。高齢者は年金減で生活苦となり、カップ麺やパンを食べている方が目立ちます。アベノミクスの好景気が、早く地方まで降りて来るのを待ちます。私は新聞を辞めました。
		レジャー施設	増益を目指して策を打っているが、目に見える結果が出てこない。また、お客様の反応を見ても、最終的には販売価格が基準で、サービスまたは品質については二の次になっている。
		理・美容店	物の値段が高くなってきているため、サイクルが長くなりそうだ。景気が回復しているようには感じられない。
		住宅販売会社	消費税増税の先送りにより、駆け込み需要がなくなった。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	地方、中小の状況は深刻。マスコミ対策、世論対策的な大手の好況PRをするのではなく、地域に利益が生まれ、それが更なる利益につながるような対策が必要と思うが、結果的に大手だけが潤うような、小手先の景気対策(地域商品券のような)は止めるべき。1人当たり1,000円に満たないバラまきは効果なし。
		建設業	年度末で忙しいが、4月～5月にはやや悪く見ている。
悪	家計	スーパー	同業者やお買い物にいらっしやる事業主様等にお尋ねすると、いずれも「困ったよな～」の発言。多少は社交辞令的な言葉もあろうが、大企業のベースアップなどとは裏腹に、中小零細や、周りの需要供給を遠目で見ると不況感を実感する。
		クリーニング店	春になって、色々な出費もあると思いますが、安価な物を買う事には変わりないと思います。良い物を大量に買うことはないと思います。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 東北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	永年営業を続けてきた歴史ある店舗が、最近、廃業・倒産・自己破産などで閉店を余儀なくされている。
	商店街代表者	民間の工事が増えているせいか、3月年度末という感覚が薄れてきている。売上げのピークが3月年度末には来ず、平均化されてきているようだ。このまま、平均値が上がることを期待したい。
	スーパー	60歳以上の男性が多くなっている。
	スーパー	グループでの買い物が多く見られる。近場でのイベントや、今では花見など、少数のグループが目立つ。買い物はシビアだが、アピールの仕方で売れる。
	小売業（弁当・惣菜店）	地元の繁華街では、まだまだ客が戻らない話をよく聞きます。地元の大企業の業績は悪くないようなのですが、なかなか地域に反映されているという感じではありません。また、東京に行った際に聞いた話ですが、繁華街も昨年から人が増え始めたというふうに話していました。なので、期待は膨らみます。
	居酒屋	飲み会がない。
	スナック	土・日は外食している人が多いし、道路もビックリする位混んでいる。明るい兆しならいいなと思います。
	中国料理店	円高のため、値上げ商品が次々と出てきてしまい、仕入れ率が上がる一方です。上がった分、値段を上げられない職業の所は大変だという話ばかりです。
	食堂	景気が悪いのに県の方は良くなっていると思います。スーパーに行くと、買い物をしている方々を見てみる必要があります。若い人達でも安定している人は結構買っていますが、低所得の方は、子供が欲しがっても泣いても与えません。格差がひどい。男のパートだけでもなくして、安定した生活をしてもらいたい。
	観光型ホテル	北茨城市の商工会でプレミアム商品券を発売して、地元の消費を加速させた。
	観光型ホテル	あいかわらず、先の読めない状況が続いております。景気回復の兆しが見えている業種もあるようですが、我々観光業についてはまだまだのようです。
	観光型ホテル	県内宿泊施設で利用できる「茨城県プレミアム付宿泊券」が県外を中心に販売され、県外の宿泊利用者が増えると期待していたが、実際の利用者は県内が8割以上と思われる。来年度も販売する際には、販売方法に見直しが必要ではないか。
	タクシー運転手	最近、常磐自動車道が全線完成したり、北陸新幹線が開業したりと、交通網の充実と活性化が進んでいる。景気を良くするには、お金を使って循環させることから始まると思いますので、ぜひ新交通網を利用して旅行にでも行ってみたい。景気回復に、微力ながら貢献させていただこうと思います。こういったことが、めぐりめぐって自分自身の商売の景気回復にもつながることもあろうかと思えます。
	レジャー施設	小売店で、来客の商品購入状況を見ていると、必要な物以外は買わない。また、出来るだけ安価な物を求める方が多いと感じる。いまだに、東北地域の景気は厳しい状況が続いていると思われる。
	ゴルフ場	まだ閉歇期なので、特徴的な動きがない。
	ゴルフ場	気象予報を注視するムードが出ている。地方統一選挙がらみの動向に注意する。引き続き、料金競争が敏感になりつつある。
	クリーニング店	近くの大型家電店舗がリサイクル店に変わるようです。
住宅販売会社	東北地方の不景気は根が深い。しばらくは、この状態が続くそうだ。	
企業	林業関係者	物価の値上がりが早い。
	製造業（電気機械器具）	大企業の大幅なベースアップが報道されているが、その雰囲気は微塵もない。
	製造業（電気機械器具）	株価の上昇と、大手企業の賃上げのニュースが放送されている。地方の中小企業に影響が及ぶのは、少し先になると思われる。大手企業の関係者に個人消費を牽引していただき、その後地方に波及することを期待する。
	製造業（電気機械器具）	忙しい会社・地域と、そうでない会社・地域の差がますます極端になっているような気がする。
	製造業（輸送用機械器具）	大手企業を中心に大幅なベースアップが実施されるので、販売拡大に結び付くことに期待したい。
	製造業（精密機器）	企業間格差が進んでいる気がする。
	製造業（精密機器）	現在は動きもない状態で、停滞という感じですから、悪くないと思います。
	運輸業	新しい案件・見積依頼が増えてきた。
	金融業	地元大手企業関連の業者においては、先行きが不透明であることも影響し、積極的な動きはなく、勤労人口の減少により、東北地区の人口は、高齢化と大幅な人口減少傾向にある。その一方で、当該地区では少なかった老人介護関係の業者の進出が目立っている。日立以北の北茨城まで、当地と同様な環境にあり、先行きは依然不透明である。
	不動産業	一年を通じて、戸建新築住宅や不動産事業は、閉歇期が長く、繁盛期が短くなっている気がする。
運輸附帯サービス業	原材料の高騰に伴い、機材にも影響し、コストへの反映が厳しくなってきた。	
雇用	公共職業安定所	円安によるコストアップの影響は続いており、利益薄の状況が見込まれるなど、各産業、各会社により景気判断のばらつきが見られる。
	学校就業関係者	ガソリン価格の高騰。地元大手企業に勤める知人のリストラ。
	求人開拓員	土木作業員の募集は継続しているが、応募者がいない現状では、景気上昇の盛り上がりは感じない。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	業者間の価格競争が一段と厳しくなっている。お客様からは価格の問い合わせばかりで、受注につながらないことが多くなった。
	商店街代表者	消費税8%は一般消費者に浸透してきており、「消費税をまけて」と言うお客様はほとんどいなくなった。しかし、それより大変なのは「消費税は払うから本体価格を20%位まけて」と言うお客様は多くなった。スーパー、コンビニ、ホームセンター、ショッピングモール、ファミレス等では、「まけて、値引きして」と言えないが、個人商店は「まけて」と言えるので来店したとか、ネットで価格を調べて来て「ネット販売より安くなるなら注文していくが」と言われるお客様も多い。
	百貨店、総合スーパー	”今必要な物を、今欲しい” 明日から割引がされると分かっている、本日購入されるお客様が見受けられます。
	スーパー	食品は、為替の影響もあり、値上げ対象商品が多いです。少しずつプレミアム商品のニーズが出てきたりしています。
	スーパー	少量単位の商品が動いています。
	スーパー	二極化が進んでいると思われる。趣味・嗜好性の強いものは財布がゆるむが、節約できるところには金を使わない。
	スーパー	全体的に見ると売上げは伸びていませんが、年配の方に限ってみれば消費が旺盛のようです。地元で欲しい物がなければ車で1時間かけて移動し、欲しい物があればATMで現金をおろして数十万円の買い物をする人もいと聞きます。
	コンビニエンスストア	電気代増を受けて、日常会話の中で、節約意識が高まっています。また、ゴルフを中心としたレジャー費にかけるお金は減っているように感じます。
	自動車販売店	昨年の衆議院選挙以来、明らかにお客様の動きが良くなった。
	農産物直売所	売れる商品の1つ当たりの量がサイズダウンしている。
	楽器販売	実際に売れているかは不明だが、ソニーのウォークマンの新型が定価12万円程度で発売された様子。当然、学生など若者層で購入は厳しいだろうと考えると、40～50代の男性に的を絞っているのか。また、友人が自転車のホイールを購入したらしい。15万円程だそうだ。自転車に乗らない人にはタイヤ部分だけでこの価格は理解できないでしょうね。これから、中年男性が気になるような商品の動きが気になります。
	レストラン	インバウンドの利用が前年よりも多くなってきた。
	レストラン	まだまだ個人の資金にまでは、反映していない。
	割烹料理店	私事、そして私のごく身近な親仲間での事なのですが、今年、大学生になる子がおり、その学校関係のお金がいぶかかっている時期ですので、その他に使うお金をかなり減っている状況です。
	観光型ホテル	観光施設のどこに行っても外国人を見かけるようになってきた。
	旅行代理店	地方創生による需要回復に期待。
	旅行会社	食品などが次々と値上がりして、生活が大変です。ガソリンも最近ではジワリジワリと値上がりしてきましたね。国土交通省でバス代金の算出方法を見直した。それに従ってバス代金を見積もると、金額が高く、お客様は敬遠してバスを頼んでくれません。
	タクシー運転手	世の中は少し景気が上向いているように報道される事が多いが、タクシー業界は厳しい状況が続いている。
	タクシー会社	今後、財布の紐が緩くなると予想するが、高齢者の通院の回数は相変わらず目減りしたままなので、全体的なタクシー利用回数の伸びはあまり期待薄。
	タクシー会社	お客様の利用客層別状況を見ると、法人関係の利用が増加している。特に、県外からの予約利用が増加しており、工場・工事関係者の送迎が増えている。
観光名所	中国の旧正月の特需は都市部だけであり、地方の観光地にはあまり影響がないように思えます。しかし、原油価格の下落は、消費者の購買意欲を強く後押ししているのではないのでしょうか。	
レジャー施設	しばらくの間、入場者数と比較して売店の売上げの伸びが大きい傾向にあったが、ここ3～4か月位は売店の売上げが減少傾向にある。お土産を買わないとか、予算を縮小するとかの状況が見られ、消費税の影響が出てきているのかなと感じている。	
ゴルフ場	相変わらず、インターネットやテレビの天気予報(雪、雨など)によるキャンセルが多い。	
スパ・銭湯	売上げ金に千円札が多くなっているのは不景気かと思えます。	
企業	製造業(食料品)	行政主導のイベントを仕掛けても、企業の活性化をもたらすに至らず。
	製造業(印刷・同関連業)	同業者からも支払いの先延ばし依頼があったり、入札案件でも安値が見られたりするので、年度末といえど、売上げが前年並みに確保できるかどうか心配である。
	製造業(窯業・土石製品)	都心では景気が良くなってきているように感じますが、地方はまだまだです。
	製造業(金属製品)	同業者の設備投資が非常に活発になっています。
	製造業(一般機械器具)	ガソリンが安くなりました。ハローワークで求人を出しましたが集まりません。補助金で機械を導入し、やっとその機械で仕事をする事が出来るようになりました。これから返済が始まり大変です。
	製造業(精密機械器具)	最近来社された海外特約店の社長の話によると、米国大手で弊社の同業者は苦戦しているとの事です。弊社は、国内の市場は活性化しており、予算達成率も大台に乗っていますが、肝心のOEM先が振るわず、全体的に苦戦しています。このような現象はリーマンショック以来です。
	建設業	景気感が空中戦でいるため、個々の感情は冷えている。ボトムアップの地域景気回復が感じ取れず慎重である。
	運輸業(道路貨物運送業)	百貨店に入ると、イベントを開催しているフロアやショップには買物客がいるが、他は閑散としている。
	金融業	郊外型大型量販店の台頭に対抗すべく、地元商店街においてはイベントを積極的に開催し、集客向上を図っている。震災から4年、「復興」のキーワードも意識が薄れてきている印象。
	サービス業(広告業)	サービス業の取引先で、人手不足とよく聞く。特に飲食店は相当深刻で、春の歓送迎会シーズンに客数が伸びるのはいいが、対応するスタッフの限界を超えるとの懸念がある。景気が良いのではなく、単に働いていない人(特に若者)が多いようだ。
情報通信業(情報サービス業)	物価上昇と言われているが、生鮮食料品に関しては、従来から産地の出荷状況により大きく値幅が変動しており、もし値上がりしていても実感は薄いと感ずる。反面、固定価格であった物は、少額の値上げであっても消費者の抵抗は受けそう。	
雇用	求人広告	物価が上がってる気がする。
	公共職業安定所	人手不足(採用困難等)の状況は求人数増加に反映している。建設業、卸売業、小売業、金融業、保険業、宿泊業、飲食サービス業、医療・福祉の求人増が目立つ。求人条件緩和等も試みる事業所もあるが、なかなか採用に至らない。
	学校就業関係者	各企業とも、新入社員の入入れに前向きである。若者の正社員の定着が進めば、経済も善循環が進むように思われる。また、新入社員の離職率が心配されるところでもある。
	求人開拓員	雇用関係の数字では改善の兆しがあります。しかし、非正規雇用者も多く生活が不安定です。家計の収入(賃上げが少ない)と支出(生活必需品の値上げ等)がアンバランスなので、実感が乏しく感じられます。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	郊外型・沿道型チェーンストア・コンビニの出店により、消費者の行動パターンが変化し、旧商店街は構造的に弱体化している。
	スーパー	去年の3月に雑貨や酒が売れているので、今月に入って前年比の売上げがかなり悪い。
	スーパー	食料品のお買上げは、ほとんど変化はありませんが、衣料品のダウン(10%)が大きい。
	コンビニエンスストア	直近において、加工食品や冷凍食品等の値上げがあり、価格差の少ない生活必需品や質が良く手頃感のあるプライベートブランド商品の動向は良い。
	家電販売店	高額商品の動きが良くなっています。新築・改築関連も出てきています。
	小売業(食品)	農家の景気が気になる(米価)。農家の景気が良くなれば、消費も活発になると思う。
	精肉店	最近、近くでコンビニの出店が進んでいる。景気が良くなって増えるのか、動向が気になる。
	洋食食堂	今年の夏に近くのスーパーが新しいお店となり開店する。 市内の銀行が大きな駐車場を確保した。 いろいろと新しい町の形が生まれているのかな?と思う。
	日本料理店	新規出店はチェーン店ばかりで、雇用は生まれますが、大きなお金は本部に行くため、景気はそこまで良くならないと思います。
	ドライブイン	干し芋など季節の商品は、売れ行きが好調である。
	スーパー銭湯	施設自体が高齢者が多いので、少しでも若い(30~50代)層を取り込む対策を考慮中。
	理・美容店	新聞のチラシが増えつつある。広告宣伝費が増加している。新規開店がある。
	クリーニング店	このところ天候が悪く、年度末であるが、土建・建設の仕事が遅れている。農業の人も、作物の仕付けが遅れている。今後の作物に影響がなければいいが。
	住宅販売会社	円安による輸出業の好調はよく耳にするが、働く従業員への還元はまだ進んでいないようだ。これが進んでいけば、景気への影響も出てくると思われる。
企業	農業関係者	円安による原材料の価格上昇は原油安により一服感があるが、今後原油価格の上昇があれば、原材料の価格上昇につながり心配される状況である。
	製造業(食料品)	その日の必要な物だけ購入し、客単価が少ない。
	製造業(食料品)	原油安が電気料金の引下げにつながるように国の主導を期待している。
	製造業(電気機械器具)	地方経済の疲弊は根深いものがあり、地方の中でも地域間格差を感じる。景気は、長期的な回復傾向にあると信じたが、実感としてはまだまだではないのか。
	製造業(鉄鋼業)	個人消費に関しては、賃金のベースUPが実施される事による影響を見極めていきたい。
	製造業(金属製品)	企業間格差を感じる。ものづくり企業に苦戦する会社が多い。
	建設業	安倍政権への期待は大きいのですが、不安材料があり、多くを期待できないと思われれます。
	建設業	建築着工件数が少ないので、経済対策用のエコポイントが始まりました。この制度を利用して営業をしております。売上げを伸ばすために。
	運輸業(道路貨物運送業)	ひたちなか市の乾燥芋(紅はるか、玉豊)はすばらしい。関西の知人に送ったが、「美味しくて大切に食べています」との電話があった。茨城県が誇れるスイーツである。
	保険業	結婚しない人が多く見られ、人口減少が止まらない。
	不動産業	よく行くファミリーレストランは、お客様でいつも混雑しています。特に女性客が多いです。円安がこのまま続くかと心配です。
内装工事業	以前はあまり気に留めていなかったが、現場などで老人達が黙々と働く姿がありました。	
サービス業	高速道路のトラックの数が、目に見えて増加していると感じる(北関東道、上三川-大洗間等)。	
雇用	民間職業紹介業	とにかく、求職者(登録者)の確保に努力しているが、なかなか厳しい状況である。外国人(在留資格のある者)にまで枠を拡大して情報提供している。
	学校就職関係者	やや、食料品など物価が高くなっていると思う。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	近隣にある圏央道のインターチェンジより先の区間が開通したことにより、客数が増えたように思える。
	コンビニエンスストア	友人が軽の車を購入する等、お金の動きがある。将来に対する不安の声も近頃はあまり聞かない。景気は良い。
	小売業（生花店）	株価の上昇に伴い、市街地中心部の売地が急に少なくなってきた。資産家が、株の利益を土地の購入にあてているように思える。依然として、中心市街地の地価は安く、買い時と思われる。人口統計は、中心部人口（一中地区）より、周辺地区（四中地区）の方が5,000人程多く、結果として、中心市街地への小売店舗の出店がない。
	ガソリンスタンド	石油元売り系販売会社の統合が7月に実施予定。
	和食食堂	とにかく夜の動向は動かない。もっと昼の営業時間を伸ばして頑張りたい。
	和食食堂	単価の高い商品の出数が増えてきている。
	洋食食堂	ゴルフ場の場合、遠方でも安くしているので、忙しいとのこと。近くのゴルフ場の食事は10,000円弱で手頃感があるらしい。知り合いの蕎麦屋さんや寿司屋さんは、設備がリフォームしないままなので古いまま、トイレも古い。私は、お金を借りて順番に設備・内装をリフォームしています。でも、返すのが大変です。お客様に、気持ちよく使ってもらいたい。だから少し無理しても居心地良く。
	都市型ホテル	インバウンドで需要が多くなってきているようで、日本より海外での景気向上向きか。もっとお金を落とすのであれば景気も向上きとなるか。
	タクシー運転手	マックではなくスタバでコーヒーを飲む年配を見るとホッとします。
	タクシー運転手	同一地域内にコンビニ出店が見られる。半年間で、セブン2店舗、ファミマ1店舗。
	ゴルフ場	春開の情勢が話題にのぼることがある。大手の景気が、中小企業まで回ってくるまで時間がかかりそうだ、とのこと。
	ゴルフ場	例年のシリーズものの大きなコンペの他は、2〜3組の小回りのきくコンペが増えているようだ。料金や他のサービスと見比べ、少しでも融通の利く所を毎回選んでいるように見受けられる。
	パチンコ店	とにかく、全体的に消費疲労の様相だと思う。少なくとも、客と接していると景気が良いとは感じられない。
	ボウリング場	特に年金層では、先々への不安があり、使い控えになっています。今までは、この層にある程度の売上増えがアツただけに、景気が回復しても、この層からの脱却策を考える必要がある。
	理・美容店	やはり、石油関連のせいとか、物価がものによって安くなっている気がする。高いと売れないし、安くするしかないのでしょう。理美容店も、安いほうに流れていると思う。景気という意味では、まだまだ良くはないのでしょう。
住宅販売会社	消費税増税の先送りにより、買い控え層が動き始めた。	
企業	農業関係者	低コスト資材の要望が多い。
	農業関係者	特定の特売日に消費が偏る傾向がますます強くなっている。
	製造業（家具・装備品）	どこでも同じですが、当市は郊外型都市に変化しております。特殊な職業以外は、古い町から消えていきます。当地域の銀行も、郊外に移転しました。街の中心地ですが、住みにくくなりました。
	製造業（非鉄金属）	燃料光熱費の動き。電気は高止まり。石油類は下がったが、原油価格の変動ほどではない。ガスは大幅に下落。
	建設業	当社のテナントビルに入居している企業の社長は27歳で独立、今期で5年目、インターネットの光ファイバー通信の大手の代理店。1都4県に営業所を持ち、売上は毎年倍々ゲームの勢い。毎朝7:30〜9:00出勤の社員の姿もイキイキとしている。挨拶も大声で、張りがあり元気です。結局こういう若手の元気な企業がどんどん発展し、伸びていくのでしょうか。2代目3代目も頑張らないと生き残れないと考える。
	建設業	近所の分電盤屋さんは、企業の設備投資の影響を受けて、3か月先まで受注でいっぱい。アルバイトを増やして、土日返上で作業を行っている。当社も何とかそうなりたいものだ。
	金融業	税務署からの、税金滞納による預金調査依頼が依然として後を絶たない状況にある。
	不動産業	やはり消費税8%後の影響もあり、また、少子高齢化の影響も様々な分野で出てきた。このマイナス要因に対応し、収益源を拡大し埋める努力をしないと、受け待ちの会社はさらに厳しい状況である。ますます、今までの行いと本物の会社かどうかが試される厳しい時代であり、反面、面白い時代である。
雇用	人材派遣業	求人数が多いこともあり、派遣への人材の流れが鈍化している。
	学校就職関係者	研究学園の新築マンションは供給過剰気味のような。県内での人口移動、県外からの流入は収まったように見える。つくば駅周辺は買い物客の減少が見られる。県庁舎近くのボウリング場も潰れており、必要最低限の生活消費しかかけていないのではないかとと思う。
	求人开拓員	企業訪問をしてみて、景気が良いと答える企業と、変わらないと答える企業がはっきりしている。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	近くの大型スーパーの移転で、商店街の客数が減っている。もう1店舗のドラッグストアが閉店しないように願う。何とか行政と力を合わせて、手立てをしなければならない。高齢者経営の個人商店ばかりでは、イベントをしたくても原動力不足である。
	商店街代表者	投信をしているお客様が「利息が倍になったのよ」とニコニコ顔。圏央道の繋がった部分を走り、サービスエリアに入ったが、平日なのにいっぱい客。景気は上昇気味と思う。
	スーパー	商品の値上げ(仕入れ原価高騰による)が年明けからかなりある。競争店の売価調査を実施しているが、値上がり分を全て売価に反映出来ていないのが現状である。
	製茶販売	学生や年配の方は、財布の紐が我々世代(40~50代)より緩いのかな?
	和食食堂	以前は午前中に売り切れていたスーパーマーケットの特売品が、最近は午後になっても残っている事があり、皆様、財布の紐をまた固くしたのかな?と思います。
	日本料理店	隣国の中国が、肉類・穀物類の大量輸入を想定しているため、輸入物価も高騰すると思われる。そのため、農地放棄地を改善し、食料の自給率を国策として高めていく必要があると思われる。
	飲食業	レーガノミクスの日本版と言われるアペノミクスで、好況になることを期待しています。
	都市型ホテル	質よりも量!という団体様が多い。「他の会場では、こんなサービスしてくれた」など、まだまだ一番に金額の話が出てくることから、決して景気が良くなっているとは思えません。また、会社全体での宴会が減少しているように見受けられます。仲間内で済ませる宴会が増加しているようです。
	ビジネスホテル	近くに居酒屋1店、スーパー及びドラッグストアの出店があったので、工事業者や出店関係者の利用があった。そのため、2月としては良い動きであった。
	旅行代理店	軽自動車が目立ちます。ガソリンスタンドへ行ったら、普通車より軽自動車が多く、時には倍くらいの比率になっていた。スーパーのレジを見ますと、本当に必要な物だけ買物しているようです。余計な物は、買わない。予算オーバーしたら、品物をレジで返している方も見受けられました。
	タクシー運転手	市内の大きな変化が見られない。
	タクシー運転手	会社によっては景気の良い会社があり、その反面悪い会社も多いように見られる。
	ドライブイン	1円でも安い商品へと動く消費者心理には変化が見られない。
	企業	ゴルフ場
ゲームセンター		通勤途中のファーストフード店が、24時間営業からAM7:00~PM23:00に変更されていました。深夜に遊ぶ人が少なくなったのかな?と考えさせられます。
理・美容店		景気が良くないと言うが、来店するお客様の車は新車が多くなっている。
住宅販売会社		総選挙後も情勢は変わらず。景気回復はまだまだ先になりそう。
製造業(食料品)		新聞のチラシには、自動車や家の広告が多く入っているため一部の人には景気が良いかもしれないが、全体的には感じない。
製造業(食料品)		最近、自分の周りで車を買って替えたり、新しく購入したりした人が何人もいたが、全て軽自動車だった。前であれば、多少無理をしても普通車を買っていただろうが、無駄なお金は使いたくないと思っている意識が強いように思う。
製造業(印刷・同関連業)		世界で一番、犯罪のない安心・安全な国だった日本が、毎日、新聞紙上、また、テレビニュースで事件報道の連続です。国民の70%が中流意識を持っていて頃が思い出されます。格差社会になってしまった日本。これからも、嫌なニュース・事件が多くなる一方だと思います。政治も大切ですが、学校・家庭・社会の三位一体の教育を誰がどういう形で教育していくか?平和ボケしている時は過ぎましたね。
製造業(印刷・同関連業)		買い控え、支出控えが目立つ。景気は、最終的には個人消費の増大がなければうまく回らないが、その最初の部分にだけテコ入れしても、消費意欲の拡大を図らない限り絶望的。収入減(年金等を含め)と価格上昇が買い控えの元。机上で逆の事を企画しているとは思えない。
製造業(窯業・土石製品)		石材業界では、国産品見直しの動きがあり、当社採掘の「真壁石(中目)」原石の取引先が増加傾向にある。まだ中国製品が多いが、ルート変動による不安感と国際情勢を嫌ってか?
製造業(窯業・土石製品)		新聞を見ると、介護事業に関する施設の完成オープンについて、一面全て使った広告記事が毎週のように見受けられます。まず、利益が出るから、異業種から参入するのでしょうか。全てとは言いませんが、私には「福祉」と言う「隠れみ」をかぶった金儲け以外の何物でもありません。なぜならば、経営者・理事長の所有車は1,000万以上する高級車ばかりなのが現実です。介護報酬をもっと下げても利益がでます。利益が出るから参入するのです。
製造業(金属製品)		ロットは小さくも引き合い件数・受注件数は増えている。人員・工作機械の不足も考えられるが、コスト面での改善は程遠い感がある。
製造業(一般機械器具)		主に、自動車関連の仕事が忙しそうだ。
建設業		仕事も年度末まで、予定立っている設備もうまくいったらやるし、うまくいかない時は後回しが現状。
金融業		取引事業者から従業員不足の話も多数出ており、雇用情勢は改善傾向にあると思われる。
不動産業	法人の人事異動が昨年より活発化している。	
サービス業(コンサルタント業)	3月29日の圏央道開通にあわせた道路工事や、その周辺工事が急ピッチで進められており、現場周辺では日に日に変化する道路環境を見ると、今現在は活気を感じる。	
雇用	人材派遣業	長くやっている仕事ですが、今の様子では長く続くようです。
	求人広告	営業活動をしていると、空き物件などが埋まるのを目にする。また、古い建物が建っていた所を取り壊し、新しい建物を建てているのを目にする。一時の経済の閉塞感が薄くなった気がしている。
	学校就職関係者	今般、国において地方再生政策が種々計画されているが、今までも地方分権の名のもとに、地元自治体には様々な権限が国・県から移譲されており、市町村は業務の増加の中でも職員を削減し、組織の再編をしながら財源調整をし行政を推進している。しかも、地方交付金は合併した10年前と比較すると約6割に減額されている。これでは権限移譲された定例業務を熟すだけで、地元に沿った活性化施策を行う余裕など無いのではと思います。地方に合った再生政策の施行を国に期待します。
	求人開拓員	人口が減っている市だが、アパート建設が目につく。空地もどんどん住宅地になり、新築が建てられているので一定の層では景気も良いのだろう。